

教材・教具名	日にちの数タワー	教科・領域等	日常生活の指導（朝の会）

教材・教具写真（規格：縦 30 cm×横 50 cm×高さ 30 cm）



1 教材・教具の説明

朝の会で、今日の日にちの確認を行った後に、その日にちの数を筒にボールを入れて数えるという活動を行っています。上記の写真の右側のピンクのボールのタワーは十の位で、左側の黄色いボールのタワーが一の位です。児童が行うのは、一の位のみです。（ただし「10」「20」「30」日には、十の位を使います。）日にちは順序数ですので、それを量として数えていくこの活動は、カレンダー的学習から少し離れて、数字や数を数えることに慣れることや狭い筒にボールを一個ずつ入れていく目と手の協応の力を高めることなどを目指したものになります。毎日行う朝の会の中にこのような活動を入れ込むことで、課題に対する継続した取組を児童に自然なかたちで設定できると考えています。実際、朝の会の中で、この日にちタワーは、児童が楽しみにしている活動の一つとなっています。数を唱える声も少しずつ大きくなり、タワーの入り口を真剣に見ながらボールを入れることも全員できるようになっています。また、どの児童も主体的に手を挙げてやりたいという意思表示を出し、やり切った後は自信満々の表情になっています。

2 その他（材料）

細かい高さ調整のできる組み立て式ワゴン（台）、大判のラミネートフィルム（筒）、角材（ボール台）、テニスボール、カラーボール、コルクボード（タワー台）、磁石付き数字カード、バスケット

参考文献・Web

教材・教具名	海わたり	教科・領域等	遊びの指導
--------	------	--------	-------

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

1) ねらい

- ① 楽しみながらバランス感覚や体幹の力を高める。
- ② 足の指を曲げて踏ん張り、足の発達を促す。

2) 使い方

- ① 写真のようにボールを交互に設置する。
- ② 床から落ちないようにボールの上を渡る。

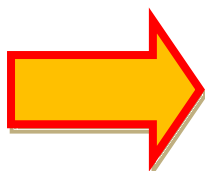
※ 実際の授業では、平均台やジャンプ台などと組み合わせてサーキットをつくり、児童がそのコースを通過してゴールまで行くという形で取り組んだ。

2 その他

- 児童が自然と足の指を曲げて踏ん張り、ボールから落ちないようにバランスをとって渡ることができるよう、丸みのあるボールを使用した。ボールの周りに魚の絵を並べ、海に落ちないようにするという設定を加えたり、悪者にさらわれたぬいぐるみを助けるためにボールを渡って冒険するという設定にしたりすると、児童がより意欲的に取り組むことができた。その結果、足元に注目することが苦手な児童も足元をよく見て慎重に渡る様子が見られた。
- ボール同士の間隔や並べ方を調整することで、難易度を変えることができる。安全性を高めるため、低めで淵の幅が広い安定感のあるボールを使ったり、滑り止めを付けたりした。

教材・教具名	さなぎになるあおむし	教科・領域等	国語科

教材・教具写真 (規格:縦 30 cm×横 50 cm×高さ 30 cm)



1 教材・教具の説明

「はらぺこあおむし」の絵本を題材とした単元で、児童が言葉と物のマッチング活動をより楽しく意欲的に行うことができるようにするために、作成しました。茶色い布をひっくり返して全体を覆うようにし、あおむしが食べ過ぎてさなぎになる場面を表現できるようにしました。あおむしが食べ過ぎてさなぎに変化することを楽しみに、児童が意欲的に活動に参加するようになりました。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	キャップ閉め	教科・領域等	自立活動（手先の巧緻性等）

教材・教具写真（規格：縦 15 cm×横 5 cm×高さ 3 cm）



1 教材・教具の説明

自立活動において、手先の巧緻性を高める学習に取り組んでいます。キャップ閉めは、3指を使って物をつまんだり、両方の指先を使って用具を操作したりすることをねらいとして行っています。この教材で学習している児童は、動物に興味・関心が高く、意欲的に活動に取り組むことができます。

児童の活動としては、キャップを閉めた後、写真に載せているケースに差し込んでいきます。その際、両方の指を使ってしっかりつまむことや、穴をしっかりと見て操作することをねらうことができます。また、1人で活動を終えた後、教師と確認をする場面においては、児童と会話をしながら、発語を促したり、動物の名前を覚えたりすることができるので、人とのコミュニケーション作りにおいても有効な活動であると考えています。

2 その他（材料）

醤油入れ（ホームセンターで購入） ケース二つ（キャップと入れ物を分けておくために使用）

参考文献・Web

教材・教具名	つかんで離そう	教科・領域等	自立活動
--------	---------	--------	------

教材・教具写真 (規格：A4サイズ)



1 教材・教具の説明

物をつかむ際に、手の平を使ってつかんだり、一つずつつまむことに課題があったりする児童の、指先の運動機能を高めるための教材である。A4の枠が書かれた紙をラミネートしてマジックテープを貼り、果物の模型、積み木、おはじきをつかんで離す活動を行う。

初めは、児童の興味がある果物の模型だけを示し、一つずつつかんで離す活動をしていく。果物の模型をつかむことができたなら、積み木だけを提示し、積み木をつかんで離す活動をする。積み木の活動ができたなら、3個のおはじきにテープを巻いたものとおはじき1個だけを用意し、つかんで離す活動を行う。マジックテープを用いることで、つかんで引っ張る際に指先をしっかりと使うことができた。また、大きいものから徐々に小さいものに移行したり、少しずつ課題を提示したりしたことで、児童がつかんで離すことができたときに、「やったー！」という達成感を味わうことができた。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	○△□動物	教科・領域等	算数
--------	-------	--------	----

教材・教具写真 (規格：A4サイズ)



1 教材・教具の説明

楽しく形の弁別をするために用意しました。

泣いているうさぎが登場し、「えーん、丸を落としちゃったの～助けてー」とお願いします。

落ちている形の中から丸を選び取って貼っていく教具です。

マジックテープで貼れるようにしています。

きつねは三角、くまは四角が好きな設定です。

形の枠線がないものも用意し、「丸ください」の言葉だけで丸を選ぶ学習もできます。

2 その他

教材・教具名	せいかつノート	教科・領域等	日常生活の指導
--------	---------	--------	---------

教材・教具写真 (規格：A4)



1 教材・教具の説明

明日の予定を書く、せいかつノートです。児童は、日にち・名前・時間割は蛍光ペンの上を鉛筆でなぞり書きします。かばんに入れるものは、教師が発声を促しながら、持って来る物のシールを配り、児童はそれを枠の中に張っていきます。その後、半分に折りパンチで穴をあけファイルにとじます。児童は家に帰り、このファイルを見ながらかばんに入れるものを準備し、入れたら下の段に○をつけ確認します。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	スロープ	教科・領域等	遊びの指導
--------	------	--------	-------

教材・教具写真 (規格：縦 300cm×横 120cm×高さ60 cm)



1 教材・教具の説明

遊びの指導の中でスクーターボードを取り上げた。平面だけの移動から遊びの広がりをもつために、児童にちょうど良い斜面を設けることにした。

教具の工夫として

- ①ベンチを置くと児童が自分で登ることができ、スクーターに腹ばいになり滑り降りることができる高さに設定。
- ②発泡スチロールの板との段差にはマットを使用。
- ③滑り降りる面は硬いプラスチックダンボールを使用し滑りやすくした。
- ④横から落ちないようにするため側面は緩衝材を使用。
- ⑤土台はボルトで固定しぐらつかないようにした。

2 その他

スロープから滑り降りたときトンネルがあったり、ペットボトルのボーリングのピンなどがあつたりするとより意欲的に滑り降りようとしていた。

参考文献・Web

教材・教具名	着替え手順カード	教科・領域等	日常生活の指導
--------	----------	--------	---------

教材・教具写真 (規格：A4)




1 教材・教具の説明

着替えの手順カードです。カードを目で見て確認してから行動することで自分から動くことができます。着替えの順番を固定して繰り返すことで、カードがなくても着替えられるよう取り組んでいます。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	肘掛け椅子	教科・領域等	自立活動
教材・教具写真 (規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm) 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自力で立ち上がったり、座ったりすることが難しい児童が、既存の肘掛け椅子だと、肘を掛ける部分が短く持ちにくいことから、円形の丈夫な段ボール紙のようなもので覆い、長くした。 →握りやすく、安定した姿勢のまま、立ち上がったり、座ったりする練習を繰り返し行っている。 ※ 右手で体を支えやすいことから、現在は、右の肘掛けのみ、長くしている。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

1)

教材・教具名	まんまる おつきさま	教科・領域等	算数
教材・教具写真 (規格: 縦 50cm×横 40cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>算数「形」の単元の学習に用いました。丸の形に興味を持てるよう、また子どもたちの主体的な動きを生かすことができるようにと考えました。物語の主人公は、児童自身で、夜、家のベランダで空を見上げていたらという設定にしました。まずは、まんまるお月さまの周囲がさがの感触のシートを貼り、そこを教師と一緒に触って、丸の形を確認できるようにしました。そのお月さまを見ていたら、おもちゃやおせんべい、お好み焼き、もち、メロンパン等、いろいろな丸い形の食べ物に見えてくるよという絵本を参考に、出てくる食べ物の写真やイラストを見せ、その裏に食べ物を象徴している感触の素材を貼り、触ったり、におったりして違いが分かるように工夫しました。おもち粘土、おせんべいコルクボード、お好み焼きやぺたぺたやきらきらのビーズ、メロンパンはフェルトに甘い匂いをつけて作りました。</p> <p>この教材を用いることで、自ら手を伸ばして、粘土を触ってうれしそうな表情になったり、ぺたぺたの感触が気に入ったりした児童は、物たたくという行動が日常的にもできるようになり、楽器の演奏等でもいかすことができるようになりました。また、粘土は指先で触る、ぺたぺたのシートは剥がそうとする等、感触によって触り方を変えることができるようになった児童もいました。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web	絵本「まんまる おつきさま」		

教材・教具名	パネルシアター「どんどこどん」	教科・領域等	国語科
--------	-----------------	--------	-----

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 90cm×横 70cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

さつまいもを含めたさまざまな根菜が登場する絵本「どんどこどん」を取り上げた。この絵本に出てくるさつまいもの形や名称、文字は、実際に育てているさつまいもとつなげて学習することができる。

この絵本でパネルシアターを作成し、読み聞かせを行った。パネルシアターには、二つの利点があると考えている。一つ目は、登場する野菜と背景との差が分かりやすく、注目がしやすい点である。二つ目は、操作が簡単のため、児童が読み聞かせに参加しやすい点である。例えば、児童が掛け声をかけるタイミングに合わせて、野菜の名前の平仮名を選択して貼り付けることができたり、葉の部分を見せた後、土部分のパネルを児童が期待感を込めて、めくったりなどの活動を取り入れることができ、読み聞かせに加えて児童の活動が課題に合わせて、幅広く設定できる。「どんどこどんどこ」という簡単な言葉の繰り返しがあるため、「どんどこどんどこ」という平仮名パネルを貼り付けることで、まねをして言おうとする意欲を育てることができる。「どんどこどんどこ」という言葉パネルが場面に合わせて、貼り付けることができることによって、場面が分かって、児童が言葉を読んだり、言葉での表出が難しい児童もパネルを見て足踏みをしたり、手をたたいたり等の身振りで表現がしやすくなった。

参考文献・Web

「どんどこどん」和歌山静子作 福音館書店

教材・教具名	文字と絵のマッチングカード	教科・領域等	自立活動
--------	---------------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



図1 食べ物の文字 - 絵マッチング



図2 動物の文字 - 絵マッチング



図3 乗り物の文字 - 絵マッチング
(手掛りあり)



図4 課題を通した友達とのやりとり①



図5 課題を通した友達とのやりとり② (タブレット端末をツールとしている)

1 教材・教具の説明

- 自立課題として、「児童が課題を見て、やる事が分かる。」ということテーマに教材を作成している。
- 基本的な使い方として、文字を読み、指定されたカードを貼り付けるというものである。
- 昆虫、乗り物など複数の種類のカードを用意し、仲間分けの要素にも取り組んでいる。
- 平仮名文字を読むことが苦手な児童には、教師が傍らで一文字ずつ指で示して発声を促す。

<第1段階>

- 一人で、文字と絵のマッチングをする。

<第2段階>

- やることを児童が分かってきたら、敢えて複数枚のカードを教師が手元に持っておき、児童にカードがないことに気付かせる。そこで、教師の所にやってきて「〇〇をください。」というコミュニケーション(要求)の練習にも使用した。児童によっては、「うしと、ぞうと、とらをください。」など複数の要求ができるようになったものもいる。

<第3段階>

- 児童同士のかかわりを設定するために、A児、B児のカードを複数枚それぞれのボックスにいれておいた。学習中に、カードがないことに気付いた児童は、「〇〇をください。」と友達の所に行き要求を伝えるようにした。(図4) これにより、文字と絵のマッチングだけでなく、①友達に自分の簡単な要求を伝える。 ②音声を聞いて指定されたカードを探し、相手に手渡すという双方向の学習も行えるようになってきた。
- また発音が不明瞭な児童(A児)は、何とかして友達(B児)に伝えたい。という気持ちが芽生えてきた。彼なりに試行をし、何度も言葉で伝えたり、台紙を相手に見せたりする姿が見られるようになった。しかし、B児は、A児の意思を汲み取ることができないでいた。そこで伝えるためのツールの一つとしてA児にはタブレット端末の活用を促し、タブレット内に画像+音声のカードを用意した。(図5) それを使うことで、B児は、A児の要求が分かり、カードを渡すことができるようになった。また、学習の振り返りにおいて、A児は、「B児といっしょにできてよかった。」というような意図の言葉を教師に伝えたりする姿が見られるようになった。

参考文献・Web

教材・教具名	Ipad 教材：Make it で作る教材例	教科・領域等	算数科
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
図 1	図 2		
			
図 3	図 4	図 5	
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>○タブレット型端末アプリ「Make it」は、既存のアプリのように固定化されたゲーム教材ではなく、教師や支援者が自分で教材を作成することのできるアプリである。誰でも簡単に作れ、児童の実態に応じた課題作成ができる。</p> <p>○正解していればそのまま、外れていけばはじかれるため、児童が繰り返し学習し、自分の力で判断して学習をすることができる。</p> <p>○今回は、算数科の学習で使用した。数字と数量の結び付き、色マッチングなどに取り組んだ。初めは、やり方や意図が難しかった児童も、自分で操作する。→正誤が明確であることから、正答率も上がってきた。目で見えて分かる課題、答えが1対1対応になっている点では、自閉症・知的障害の児童、生徒が学習を行う上では分かりやすいものではないかと考える。</p> <p>○合わせて、本学級ではAppleTVでIpadの操作画面を他児が見えるように設定している。</p> <p>(1) 色の弁別課題として</p> <p>○いちご - バナナ (赤・黄) : 図1 ○さぼさん - コッシー (緑・青)</p> <p>○ピカチュウ - どれえもん - コッシー (黄・青・緑) : 図2</p> <p>(2) カードのマッチング課題として</p> <p>○じばにゃん - ウィスパー ○アンパンマン - バイキンマン - どれえもん (線書き) : 図3</p> <p>(3) 数字、数量の結び付きの課題として</p> <p>○1～3の弁別 (いちご・レモン・りんご・みかん) 図4 ○1～4の弁別 (いちご、レモン) : 図5</p> <p>○4～6の弁別 (サイコロ) 図5</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	デジタル絵本「どんどこどん」	教科・領域等	国語科
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
<div data-bbox="384 430 1190 1048" data-label="Image"> </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>絵本「どんどこどん」には、にんじん・じゃがいも・さつまいも・さといも・ごぼう・だいこんと、土の中で育つ野菜が6種類出てきます。その形状に合わせて、土の中に現れる場面には、子どもの興味を引きそうなユーモアのある音とともにアニメーションを加えています。野菜たちは、ゆっくりと現れ、土の中の存在をアピールします。それぞれの野菜が登場した後は、手を伸ばしたり合わせたり、膨らませたりして野菜を体で表現してみると楽しかったです。絵本と実際の野菜が一致できるように、実物の写真も入れてあるので、実物と絵カード、写真のマッチングなど、授業の工夫もいろいろできます。</p> <p>2 その他</p> <p>絵本「どんどこどん」は、和歌山静子さんの作品で、土の中に育つ野菜がたくさん出てくる絵本です。「つちのなかでどんどこどんどこ」というフレーズが繰り返し登場し、内容も簡単で、絵も力強く説得力があります。小学部の低学年にはぴったりの教材です。この絵本を授業で取り扱うにあたり、最も重要視したことは「さつまいも」の成長を子どもたちにイメージ化させることでした。</p> <p>本学年では、6月にさつまいもを植え、11月に収穫をする予定です。まさしく土の中に“どんどこ”存在する野菜がイメージしやすいように、野菜が現れる場面に音や、アニメーションを加えてデジタル絵本を作ってみました。「ひまわり」の栽培を通して、植物の成長を感じとりながら本作品を見聴きすることで、子どもたちの想像力が膨らみ、さつまいもの収穫をより身近な物として感じてほしいと思っています。</p>			
参考文献・Web	福音館 どんどこどん 和歌山静子作		

教材・教具名	大きい小さい	教科・領域等	算数
--------	--------	--------	----

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)



1 教材・教具の説明

算数の図形の領域（大小の違い）を学習するために製作しました。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	ひらがなマッチング	教科・領域等	国語

教材・教具写真 (規格:縦 30 cm×横 50 cm×高さ 30 cm)



1 教材・教具の説明

文字(平仮名)への興味が高く、フラッシュカード等で、発声による絵と名称の一致がある程度可能である児童への教材として作成しました。型枠内に入れてある見本の文字カード(赤枠)の上に、文字ブロック(青枠・厚さ5mm)をはめ込んでマッチングを行います。見本の文字カードと、絵カードは取替え可能で、縦に並べることも可能です。絵カードは市販のひらがなカルタ等で代用できます。

現在は2文字からなる単語に取り組んでいますが、型枠をつなげることで、机上で5文字までの単語で平仮名のマッチングが可能です。自分の名前や、普段慣れ親しんでいる学級の友達の名前のマッチングにも取り組み、楽しみながら学習していけるようにしたいと考えています。

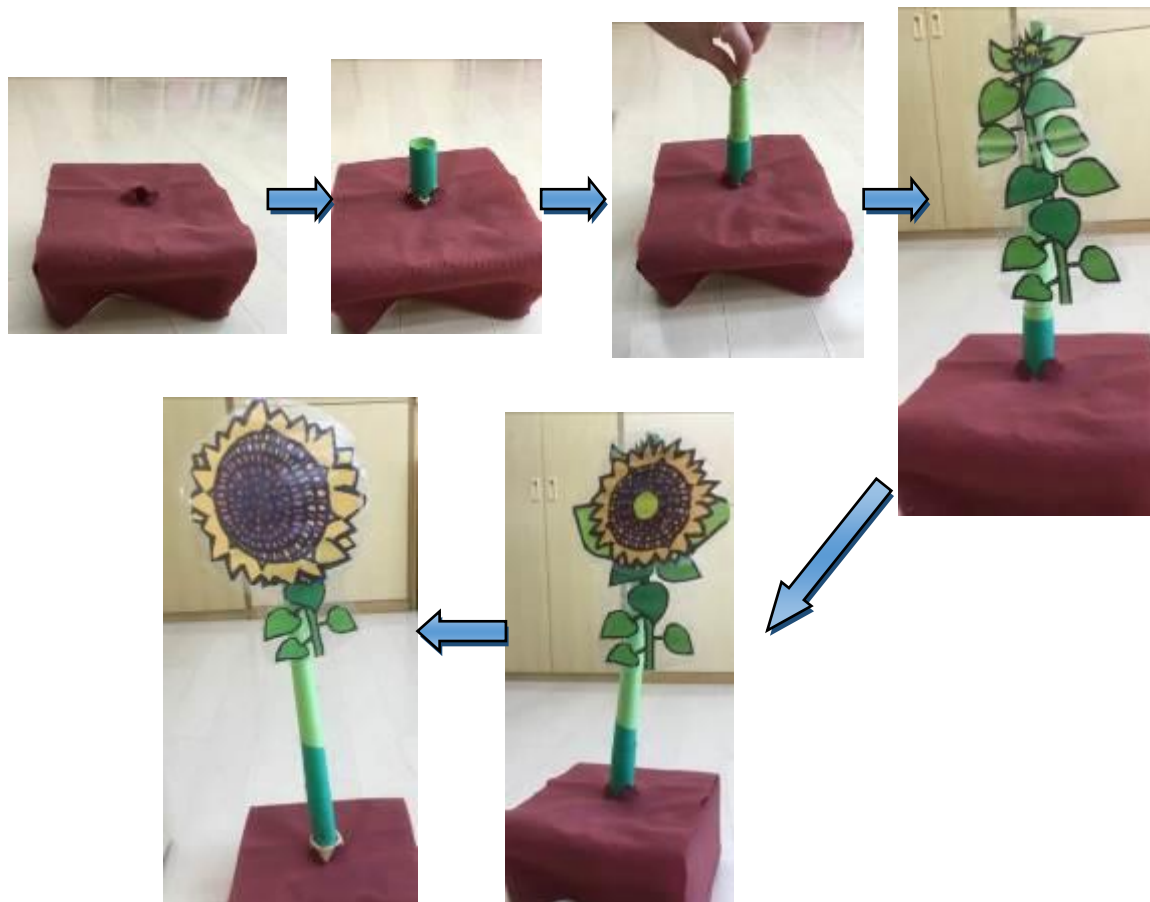
2 その他(材料)

カラーボード(型枠・文字ブロック)、型紙(型枠の下敷き)、ラミネートフィルム(見本文字カード・文字ブロック・絵カード)

参考文献・Web

教材・教具名	ひまわり模型	教科・領域等	国語
--------	--------	--------	----

教材・教具写真 (規格: 縦 30cm×横 30cm×高さ (最大) 60cm)



1 教材・教具の説明

「ひまわり」という絵本の読み聞かせに合わせて、実際に目の前でひまわりが大きくなって（伸びて）いく様子を再現したいと思って作りました。

画用紙をくるくる巻いて、中心を引っ張ったら伸びるようにしたものを、土に見立てた茶色のボックスに挿し、お話に合わせて引っ張って、伸びていく様子に見立てました。葉っぱが付く様子は、絵本の挿絵と同じものをラミネートして、場面が変わるごとに貼り替え、ひまわりの花が最後に咲くところは、大きなひまわりを貼り付けて使用しました。

重度重複学級だったので、教師の操作で使用しましたが、児童の実態によっては、自分たちで引っ張って大きく活動を行うことも可能だと思います。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	カレーライスのエプロンシアター	教科・領域等	生活単元学習
教材・教具写真 (規格: 縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>生活単元学習のカレーライス作りで、意欲が高まるように使用した。エプロンのポケットからカレーライスの歌に合わせて、具材が出てくることで注目しやすく楽しい雰囲気を始められる。使う材料や作り方について簡単に確認することができ、見通しをもって活動することができる。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web	「カレーライスの歌」 ともろぎゆきお 作詩 峯陽 作曲		

教材・教具名	朝の活動カード	教科・領域等	日常生活の指導

教材・教具写真 (規格：縦 30cm×横 4cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

- (1) 学級の児童について：平仮名と片仮名が読める児童と、絵の方が認識しやすい児童がいる。年度初め、朝の活動の進め方がスムーズに進められないことがあった。また、言葉より絵や写真の方が伝わりやすい様子が見られた。
- (2) 教材について：登校後の活動が視覚的に分かりやすいよう、絵カードや文字カードを作成した。上から活動順に並べ、その活動が終わるごとにカードを取り、横の封筒の中に入れる。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	音、色、におい、感触、形を感じよう	教科・領域等	国語科・算数科

教材・教具写真

①入浴剤をお湯に溶かす
「あわぶくぶく ふぶぶぶ ふう。」



②お風呂ごっこ
「しゃわしゃわしゃわー。」



③友達と足湯
「ああ、いいきもち。」



④お風呂のお湯を利用して、
小麦粉粘土で形づくり



1 教材・教具の説明

(1) 学級の児童について：肢体不自由を伴う重度重複障害児3名

・全盲の児童がいるため、その児童が活動に参加しやすいような工夫が必要。

(2) 教材について

校内宿泊学習でお風呂に入ることに向けて、国語科・算数科で、お風呂に関する絵本を導入とした学習に取り組みました。絵本のストーリーを疑似体験するというので、「お風呂ごっこ」を、入浴剤やシャワー（穴の空いたペットボトルのキャップ）を使って行いました。

① お湯に入浴剤を入れ、色が変化する様子を、音やにおいと同時に感じます。


② 絵本に出てくる擬音語に合わせてシャワーをしたり、お湯の特徴を感じたりします。


③ 校内宿泊学習では、初めて友達と一緒にお風呂に入るのので、そのことを意識できるよう、友達と一緒に足湯をします。

④ 使い終わったお湯は捨てずに、小麦粉に混ぜて粘土にし、算数科で色・形の学習に用いました。

2 その他

・穴の空いたペットボトルのキャップは、ホームセンターで買いました。

教材・教具名	1～5まで数えよう	教科・領域等	算数科
教材・教具写真 (規格: 縦 cm×横 cm×高さ cm)			
<p>①</p> 		<p>②</p> 	
<p>③</p> 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>① 1～5までの数を数列順に並べることで、数量概念を視覚的に捉えることのできる教材です。1～5までの高さの棒が数列順に並んでおり、そこに、穴の開いた四角いブロックを一つずつはめこんでいきます。</p> <p>② ①の教材を一人で行うことが難しい児童のために作ったものです。BOXで隠れた部分以外にブロックをはめこむことができるようになっています。ブロックを数列順にはめこんでいくごとに、BOXを向かって右方向へ移動させたり、ページをめくって、はめこむ数分の数字や動物数を視覚的に提示したりします。</p> <p>③ 数字と数のマッチングをするものです。数字を指でなぞった後に、①・②で使用した四角いブロックを、動物の数に合わせてはめこんでいきます。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web	ポプラ社「どうぶつなんびき？」 作・絵はた こうしろう		

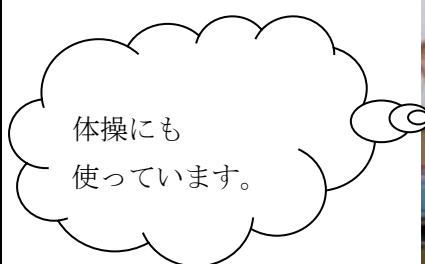
教材・教具名	1～5まで数えよう	教科・領域等	算数科
教材・教具写真 (規格: 縦 cm×横 cm×高さ cm)			
<p>①</p> 		<p>②</p> 	
<p>③</p> 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>① 1～5までの数を数列順に並べることで、数量概念を視覚的に捉えることのできる教材です。1～5までの高さの棒が数列順に並んでおり、そこに、穴の開いた四角いブロックを一つずつはめこんでいきます。</p> <p>② ①の教材を一人で行うことが難しい児童のために作ったものです。BOXで隠れた部分以外にブロックをはめこむことができるようになっています。ブロックを数列順にはめこんでいくごとに、BOXを向かって右方向へ移動させたり、ページをめくって、はめこむ数分の数字や動物数を視覚的に提示したりします。</p> <p>③ 数字と数のマッチングをするものです。数字を指でなぞった後に、①・②で使用した四角いブロックを、動物の数に合わせてはめこんでいきます。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web	ポプラ社「どうぶつなんびき？」 作・絵はた こうしろう		

教材・教具名	ノートガイド	教科・領域等	国語科 算数科
教材・教具写真 (規格：縦21.5cm×横30.5cm×高さ0cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>国語ノート、算数ノート等、マスに文字や数字を書くことができるようになった次の段階として、1マス1マスに同じ方向で、順序良く文字や数字を書くことができるようになるためのガイドを作成した。</p> <p>ポイントとしては、ノートに印や色の手掛かりで書くことはできるが、マスや順番をとばして書いてしまう児童について、使用する利点としては以下の通りである。</p> <p>①マスは、既製どおりを生かして、印や色を付けなくて、書く行だけに着目して書くことができる。</p> <p>②前行に見本がある場合、それのみを見ながら、自分で文字を書くことができる。</p> <p>③片手のみで書くので、書かない手は、ガイドをずれないように押えることで、ノートに手をそえて書くという意識につながる。(姿勢にも気を付ける。)</p> <p>2 その他</p> <p>改良点としては、裏表でも使用できるようにした。児童のノートは、同じマスでもメーカーにより規格が様々なので、児童の持っているノートに合わせていくつか作っておくとよい。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	ゆりかご用 豆絞り	教科・領域等	体育
--------	-----------	--------	----

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 cm × 横 cm × 高さ cm)



膝の裏に豆絞りを通して
います。

1 教材・教具の説明

マット運動の“ゆりかご（膝をかかえて前後に揺れる技）”の練習で使用しました。豆絞りを膝の裏に通し、両端を握ることで自然に膝を抱える体勢ができます。また、そのまま使用するのではなく輪にして使用することで、握りやすくなり、力も入りやすくなるため、後ろに倒れても体勢が崩れることもないし、起き上がる時にも力が入りやすくなります。

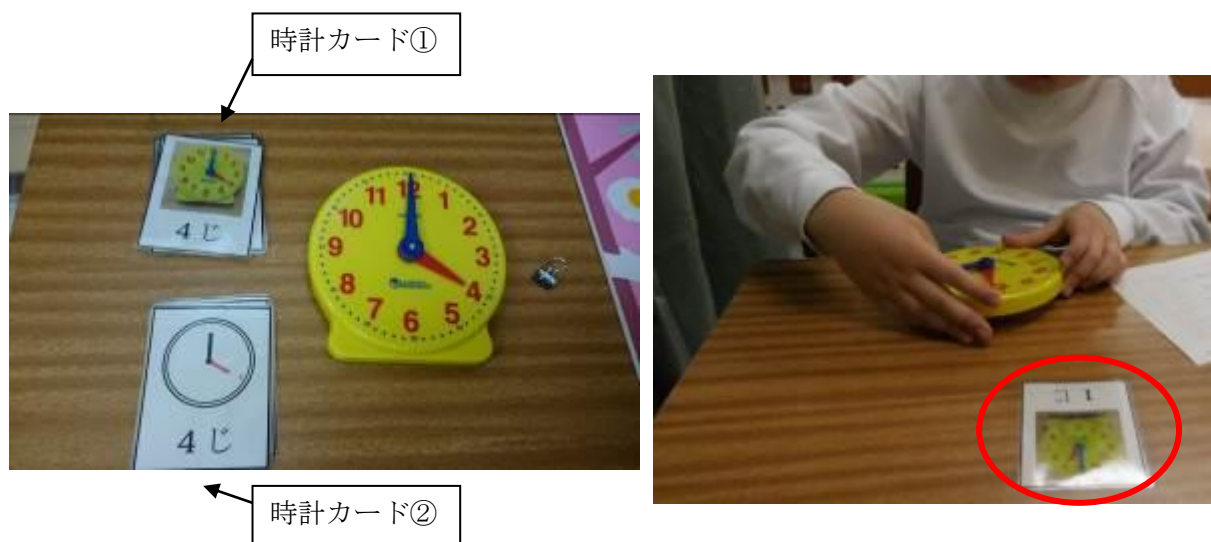
2 その他

タオルでも応用できると思いますが、太くなると子どもが握りにくくなると思うので、細いものをお勧めします。最初は、何度か前後に揺らしてやると揺れる感覚をつかむことができ、自分で揺れることができるようになりました。この豆絞りを使っただけで、全員自分でゆりかごができるようになりました。

参考文献・Web

教材・教具名	時計カード	教科・領域等	算数

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

算数科の時計学習の導入で使用しました。時計カード①は、時計模型の時間を〇時ぴったりに合わせて、下にその時間を書いたもので、時計カード②は、赤い針（短針）が指している数字だけが書かれた時計の絵の下に時間を書いたものです。まず、時計カード①を見ながら時計模型の針を回して、同じ時間に合わせることで、時計の進み方が分かり、〇時ぴったりのときは、青い針（長針）が12の所にくるということを理解することができます。次に、時計カード②を見ながら時計模型を同じ時間に合わせることで、赤い針（短針）が指している数字を読むと時間が分かるということが理解でき、時間を読む学習につなげていきました。この活動を行ってから、〇時ぴったりを指している時計をランダムに並べたプリントを使って、時間を読む学習をすると、スムーズに時計を読むことができました。

2 その他

この教材に関連して、時計カード①②の時間の部分を空欄にしたプリントも作成しました。このプリントは、数字がたくさんあり、注目する数字が分かりにくい時計カード①に比べて、赤い針（短針）が指す数字だけが書かれた時計カード②の方が解きやすいと思います。そこで、プリント学習では、②→①の順番で解かせるようにしました。

参考文献・Web

教材・教具名	スクーターボード3号	教科・領域等	体育・自立活動・遊びの指導
教材・教具写真 (規格：縦 150cm×横65cm×高さ10cm)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>1) 対象：肢体不自由を伴う重複障害児童・生徒 (耐荷量：180kg)</p> <p>2) 育てたい力：・揺れや重力移動においても、身体軸を正常に維持する力をつける。 ・ 下肢に体重を感じ、体幹や上肢、頭のコントロールをする抗重力姿勢を取る力の基礎を育てる。</p> <p>3) 使い方：1：児童・生徒は介助者①(教師)とともに介助座位で乗り、介助者②が引っ張ることで、前方への移動・回転・上下動・視覚的な刺激を取り入れる。 木の板にでこぼこを付けた、でこぼこ道ゾーンや、暗幕を張ったトンネルなどを作っても面白い。</p> <p>2：腹臥位でボードに寝転び、伊達締め等で落ちないように固定して進む。</p> <p>2 その他</p> <p>本学級の児童は、3人中2人が常時座位保持椅子に座っており、SRCウォーカーを使うこと以外はあまり移動のために乗り物教材に乗ることも少ない。二人とも腰で自分の体重を支える経験に乏しいため、介助座位でスクーターボードに乗る際は、介助者①の膝で児童の腰を挟み、腰から上体がまっすぐになるように注意して行った。</p> <p>広場で乗ると、児童は目を丸くして震動やスピードを感じていた。やはり自分の腰で支える姿勢には慣れないらしく、5周ほどすると疲れたように力が抜けてきていた。</p> <p>スピードを速くすることで体の横に感じる遠心力や、進むとき、泊まるときに感じる慣性の力、そして腰に掛かる重力などを感じて活動し、そして次第に腰を中心とした筋力、抗重力姿勢の基礎が築ければ良いと考えている。</p>			
参考文献・Web	みんなが輝く体育7「障害児 体育の授業」(学校体育研究同志会)		

教材・教具名	タイムボード	教科・領域等	日常生活の指導

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

日常生活の様々な場面でタイムタイマーを活用できるように、携帯できる形にした。ボードの枠を強調することで場所が変わってもボードに注目しやすくなった。また、ホワイトボードに設置できるように、裏にマグネットを付けている。

タイムタイマーを提示することで、見通しをもって落ち着いて活動に向かうようになったが、活動終了のアラーム音に児童が気付きにくい実態があったため、キッチンタイマーを併用した。キッチンタイマーを併用することで、アラーム音に気付き、次の活動に移動する姿が見られるようになった。また、二つのタイマーを使うことで、児童が自分の分かる方のタイマーを見て行動するようになった。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	雑巾掛け補助具	教科・領域等	日常生活の指導
教材・教具写真 (規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)			
			
1 教材・教具の説明			
<p>掃除の時間に、高ばい姿勢で雑巾掛けをすることが難しい児童のために作成した。雑巾の上に台紙を置くことで、左右の手首が安定し、高ばい姿勢が取りやすくなる。</p>			
<p>雑巾を毎回洗うことができるように、台紙は雑巾に貼り付けず、滑り止めシートで固定するようにした。また、表面には滑り止めシートで手形を付けることで、児童がどこに手を置けばよいか分かるようにした。</p>			
<p>初めは、左右の手が交互に出て、高ばい姿勢で前進することが難しい児童も、教具を使用することで、姿勢が安定し、一人で10往復程度高ばいで雑巾掛けを行うことができるようになった。</p>			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	はみがき手順カード	教科・領域等	日常生活の指導
--------	-----------	--------	---------

教材・教具写真 (規格：縦8cm×横20cm×高さ15cm)



1 教材・教具の説明

歯磨きを自分の力で正しい手順でできるようになるために、歯の磨く部分が分かりやすく示されているイラストをカードにして、めくりながらできるようにした。このカードを作るとき、児童が歯磨きをすることで口がきれいになったことが分かるようにするため、初めのカードには、ばい菌を口の中に示し、終わりのカードには、口からばい菌が出て行っているようにした。また、1から10までの数字を横に書き、それを見ながら10回磨いたら次のカードをめくれるようにしている。

歯磨き指導は、複数の児童を一斉に見るのは難しいが、これを使いながら、一人で手順に従ってできるようになったので、細かい部分の指導がしやすくなった。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	楽器	教科・領域等	音楽
--------	----	--------	----

教材・教具写真 (規格: 縦 20cm×横 30cm×厚み 10cm)



1 教材・教具の説明

○本学級児童の課題

本学級は重複障害児童が3名在籍している。

興味関心が学習に向きにくく自らやってみようという気持ちにさせることが難しい。動くものを視覚的に捕らえることが難しい児童もいる。

○使用方法

- 1 ざるを傾げるだけで中の大豆が動いて音が出るのでざるの端っこを持って動かす。
- 2 ざるを傾げる力のない児童については蓋をはずし、中の大豆を直接指で触りながら「ざらざら」という音を出させる。

○使用後の変化

揺らすだけで音が出るので興味を持って音を出すことができた。また手の力が弱い児童でも、指先が少し動くだけで中の大豆が転がっていき音が出るのでどの児童もこの楽器を使うことができた。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	下校ボード	教科・領域等	日常生活の指導

教材・教具写真 (規格: 縦 18cm×横 27cm×厚み 1cm)



1 教材・教具の説明

○ 本学級児童の課題

本学級は重複障害児童が2名在籍している。

友達に伝えたい気持ちはあるが、発語が少なくコミュニケーション手段が少ない。

様々な理由から下校方法を気にかけたり、教師に伝えたりすることが多い。

○ 使用方法

1 教師の準備したボードを見ながら、教師と下校方法を確認する。ポインティング指導を通して指への注意獲得を練習する。

2 教師から当日の下校方法を聞いた後、カードを選択して枠の中に貼り、指さしで「ぼくはバスで〇〇に行くよ」と他者に伝える練習を行う。

互いに下校方法を伝えあったのち、教師が適切なフィードバックを行う。朝の会での確認後は、ホワイトボードに掲示し、児童自身がいつでも確認できるようにしておく。

○ 使用後の変化

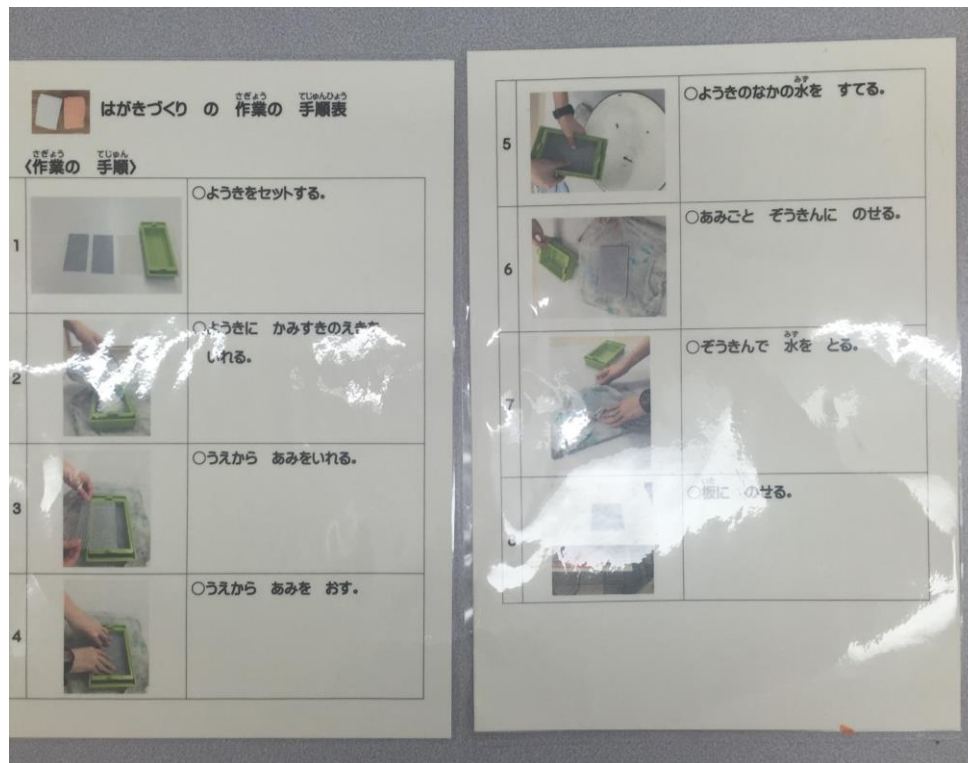
下校方法を視覚的に表すことで、児童は見通しや他者へ伝わっている実感をもって過ごすことができるようになった。

参考文献・Web

教材・教具名	はがき作り工程表	教科・領域等	作業学習 (クラフト)
--------	----------	--------	-------------

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 cm × 横 cm × 高さ cm)



1 教材・教具の説明

手順表を見ながら一人ではがきを作れるようにするために制作した。活動方法が分かりやすくなるように、実際に使う道具と同じ物で撮影し、作業様子を拡大した写真を取り入れた。

平仮名は読め、漢字に関心があるので、ふりがなを付けたものにした。

手順表を見て作業を繰り返し行ったことで、ほぼ工程を覚えることができるようになった。

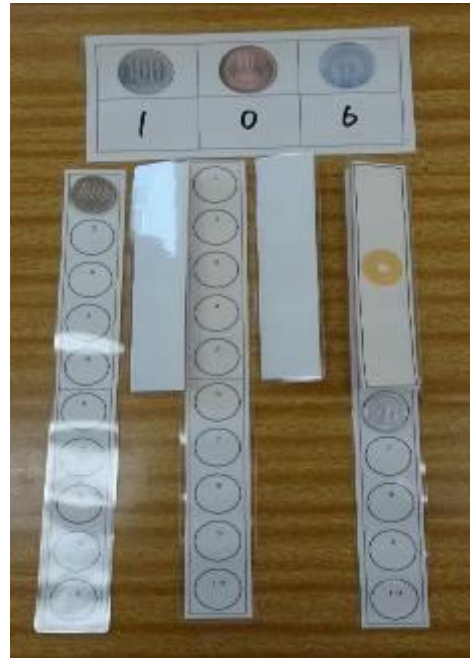
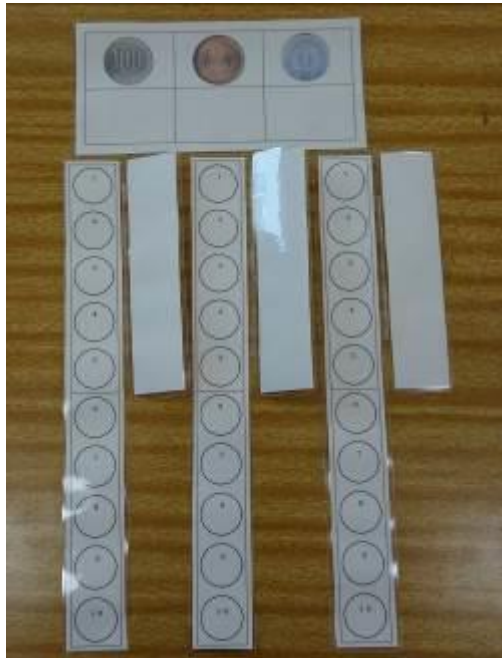
2 その他

参考文献・Web

--

教材・教具名	お金を数えよう	教科・領域等	数学科
--------	---------	--------	-----

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

教師が指定した金額（「106円」、「321円」など、1円・10円・100円を使うような金額）を伝え、生徒がその金額分の硬貨を並べるという学習に使用する。生徒に、提示された金額を正しく選択し並べることができるようになればと考え、教材を作成した。

1枚ずつ本物の硬貨を枠に置いていくことで、数を数えるという活動の確認もできる。また、1円・10円・100円が五つになると、それぞれ5円玉・50円玉・500円玉に代えることができるという学習も、カードをめくることで行うことができる。使う際には、買物の場面を設定した上で、「～、買ってきて。」や「これ、いくら？（何円?）」などの言葉掛けも行いながら、学習を進めていった。

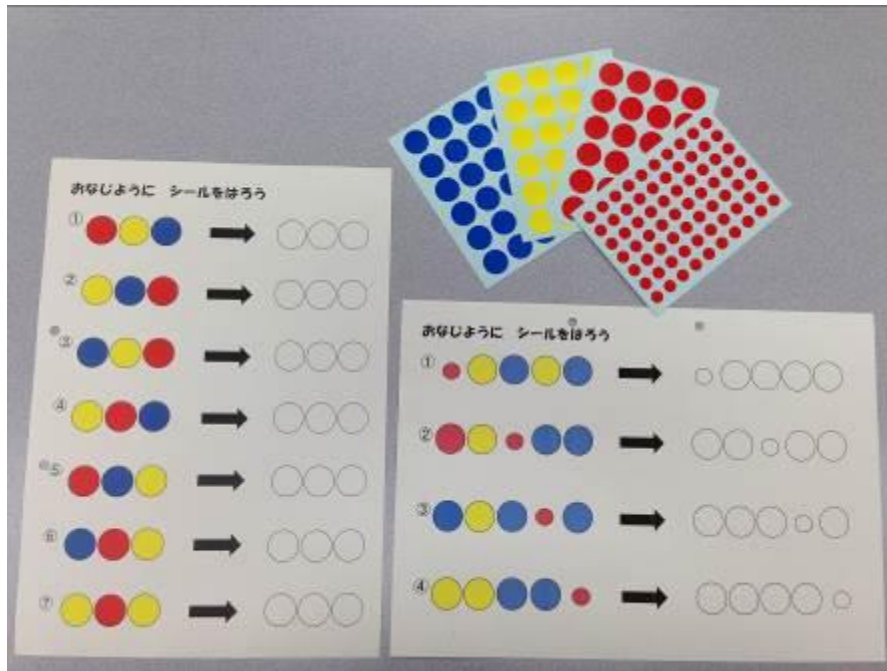
生徒は、同じ学習を繰り返し行うことで、「780円」「106円」などの教師が指定した金額を正しく選択し、並べることができるようになった。更に5円、50円、500円を交えた場合でも、指定された金額を選択できるようにもなってきた。継続して使っていきたい。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	シール貼り	教科・領域等	自立活動
--------	-------	--------	------

教材・教具写真 (規格: 縦 cm × 横 cm × 高さ cm A4)





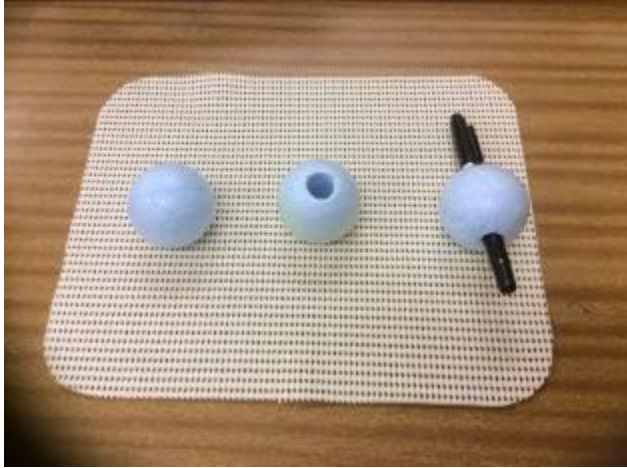

1 教材・教具の説明

色と形の大きさを注視させることを目的に制作した。貼るべき部分の丸枠をシールとぴったりの大きさにしておくことで、より集中して手元を見ることができるようになった。

何パターンもの色や大きさをプリントアウトすることができるので、繰り返し学習に取り組むことができた。

2 その他

教材・教具名	読み聞かせ用パペット人形	教科・領域等	国語
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
1 教材・教具の説明			
「教具の使用方法」			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み聞かせの際、パペット人形や食べ物模型を併せて提示したり、動かしたりする。 ・ 児童、生徒が、パペット人形にあげたい食べ物模型を選んで食べさせたりする。 			
「教具の工夫」			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 色鮮やかな布を使用することで、生徒が注目しやすい。 ・ 児童、生徒の興味を引きやすく、集中して活動に取り組みやすい。 ・ 読み聞かせに平行して、パペット人形や食べ物模型等の具体物を操作することで、物語の内容を体験しながら活動に参加できる。 ・ 児童、生徒が交代でパペットを動かしたり、食べ物模型を与えたりする活動をすることで、児童、生徒同士のかかわり合いにもつながる。 			
2 その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・ パペット人形を用いて読み聞かせを行うと、生徒の多くはこれまで以上に集中したり、自分から授業に参加しようとしたりすることができるようになった。今回のパペット人形は、使用できる絵本が限定的なものであるため、様々な場面でも使用できるものを制作していきたい。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	筆記具の自助具	教科・領域等	国語、美術、自立活動
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>(1) 対象生徒： 手指の動きに不器用さがあり、細い筆記具を逆手で持つことができない。</p> <p>(2) 使用目的： 国語や美術、自立活動でペンや筆を使う際、順手でしっかりと筆記具を持って、自分のイメージに近いものを書いたり、(描いたり) 塗ったりすることができるようにする。 活動にスムーズに取り掛かり、継続することを促す。</p> <p>(3) 使用方法： ① 発砲スチロールのボールに空けた穴にペンを入れる。 ② 発砲スチロールのボールの部分を順手で持って書く(描く)。 ③ 筆記具を変える場合は、それに合った大きさの穴を発砲スチロールのボールに空けて使用する。</p> <p>2 その他</p> <p>① 発砲スチロールのボールを使用することで、筆記具の先端部分を押し当てて削るのみで簡単に自助具を制作することができた。</p> <p>② 簡単に制作することができるため、生徒一人一人に、また使用する筆記具に合わせて数多く使用させることができた。</p> <p>③ 発砲スチロールは軟らかい素材で、手で握った際の感触が心地よいため、生徒が持つことを嫌がらず、活動を継続させることができた。</p>			
参考文献・Web	養護学校の授業に役立つ自作創作教材・教具		

教材・教具名	ナット締め	教科・領域等	自立活動
--------	-------	--------	------

教材・教具写真 (規格: 縦 10cm×横 30cm×高さ 5cm)



1 教材・教具の説明

ナットをボルトにつけたり、取ったりさせる。

段階を変える。

- ①色を付けた状態で
- ②色が付いていない状態で

2 その他

色が付いている状態だと、すぐに理解しきれいにしめることができたが、色を消すと間違えながらも最後はすべてしめることができた。

次は、ボルトの順番も変えてみたい。

参考文献・Web

教材・教具名	野外活動 視覚支援	教科・領域等	生活単元学習
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
1 教材・教具の説明			
<p>野外活動は屋外の活動であるため、牧場見学、トレッキング、レクなどの活動をするにあたり、スクリーンやホワイトボードなどの視覚支援環境が整っていないことが多い。そのため、スケッチブックに必要な視覚支援情報を紙面にして貼り付け、集合したときに掲示しながら説明することができるようにした。また、持ち歩きやすいように肩掛けベルトを付け、すぐに該当のページが開けるように木の棒（アイスキャンディーの棒状）を見出しとして付けた。</p>			
<p>当日は、以下のときに活用できた。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・牧場見学で、見学する動物の表示。 ・レクで、「猛獣狩り」の歌詞の表示。 ・トレッキングで、チェックポイントの写真の事前確認や、チェックポイントの看板代わり。 ・集合時に、「静かに」「話を聞く」「揃ったクラスは報告してください」などの視覚的表示。 			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	足し算カード	教科・領域等	数学
--------	--------	--------	----

教材・教具写真 (規格：縦 30cm×横 45cm×高さ 20cm)



1 教材・教具の説明

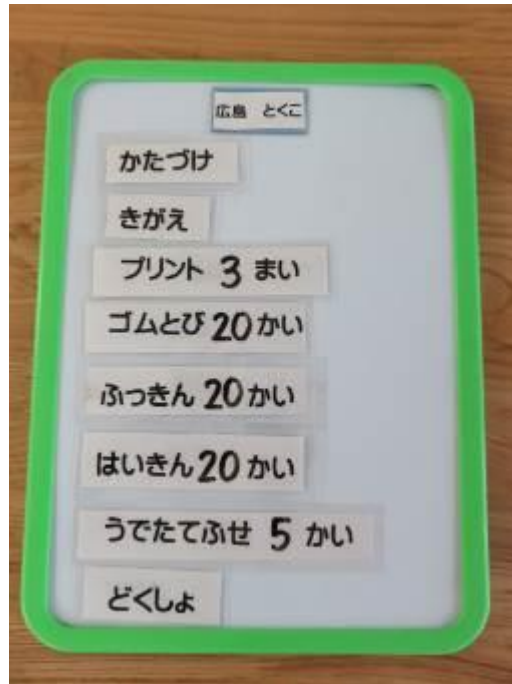
答えが5までの足し算から、 $5+〇〇$ の足し算、答えが10までの足し算までを段階別に足し算カードにし、積み木を使って足し算の式が導入できるようになっている。数字カードによって数字を示し、数字を読んで積み木をとる活動を行うことで、数字と数量を結びつける学習ができる。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	手順ボード	教科・領域等	日常生活の指導
--------	-------	--------	---------

教材・教具写真 (規格: 縦 28cm × 横 21cm)



1 教材・教具の説明

- ・登校後の手順と朝学習の課題のカードを磁石でつけて示している。
- ・登校したら自分の机に運んできて、終わったら裏返すようにして使用している。
- ・生徒に合った内容で構成することができ、時間内で終わる課題の量も調整できる。
- ・プリントの枚数や筋トレの数はカードに直接書き込むことができ、修正が容易。
- ・実際に使用してみて、生徒は見通しをもつことができ自主的に動いている姿が見られている。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	とけいのよみかた れんしゅうボード	教科・領域等	算数・数学
--------	-------------------	--------	-------

--	--	--	--

教材・教具写真	(規格：縦	cm×横	cm×高さ	cm)
				

1 教材・教具の説明

時計の読み方を練習するためのもの。教師が提示する「教師用」と、児童・生徒が操作する「生徒用」を準備し、一緒に時間を読み取ったり、針を動かして時刻を一緒に作ったりするのに用いる。短い針がちょうど「～時」の目盛りを、長い針がちょうど「～分」の目盛りを指すようにしてある。実態に応じて、分の目盛りの数字を全て記入して使用する。

時刻を記入させるプリントには、「○時○分」のように針の色とリンクさせる視覚支援が有効である。

2 その他

教材・教具名	動作カード (だれが、どうした)	教科・領域等	国語科
--------	------------------	--------	-----

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格: 縦 cm × 横 cm × 高さ cm)

1 教材・教具の説明

短文作成の練習用プリントとして作成しました。プリント中のイラストは、「言葉図鑑 ①うごきのことば」(偕成社)より抜粋しています。日常で使用する様々な動作が載っており、色もついているため、生徒にとって動作を想像しながら考えやすいものとなってほしいというねらいがあります。また、イラストの人物に名前をつけて、名前と動作を書く練習をしています。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	ボタン練習	教科・領域等	自立
--------	-------	--------	----

教材・教具写真 (規格: 縦 30cm×横 10cm×高さ 1cm)



1 教材・教具の説明

鳥類をこよなく愛している生徒に、鳥のボタンを使ってボタン練習に取り組ませました。言葉掛けは「ちゅんちゅんさん、出してあげて」「ちゅんちゅんさん、こっちにもいるよ」です。

2 その他

このボタンの形状により抜けにくいので、①穴に入れて②穴から引っ張り出すというボタンの仕組みが理解しやすかったようです。このボタンの後に、丸いボタンに取り組んでいるところです。

参考文献・Web

教材・教具名	星空観察をしよう	教科・領域等	国語
--------	----------	--------	----

教材・教具写真 (規格：縦 150cm×横 150cm×高さ 150cm)



1 教材・教具の説明

肢体不自由児の重複学級で使用しました。パーテーションをつなぎ、農業用の黒い網をかぶせてクリップで留め、モールで電飾を結びつけただけの簡単な仕組みです。

1学期の国語の授業の一環で、野外活動に関連した教材で取組を行いました。そこで、野外活動に関する物語を読んだ後、星空を観察しようとして一人ずつこの空間に入る活動を取り入れました。

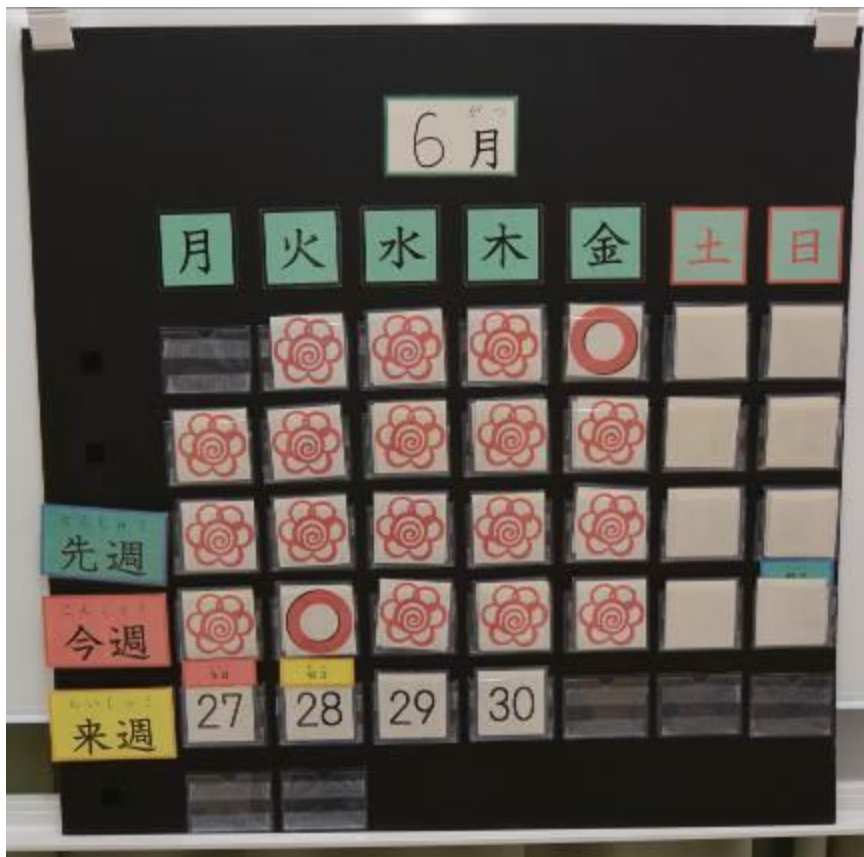
2 その他

教室を暗転させてから点灯することで、より光に注目できました。この空間が気に入ったのか、日常生活でも自分から立ち上がって入ってゆく様子も見られます。

参考文献・Web

教材・教具名	目標達成カレンダー	教科・領域等	日常生活の指導

教材・教具写真 (規格：縦 100cm×横 100cm×高さ 2cm)



1 教材・教具の説明

1 か月や1週間の見通しをもつことや目標を達成したことが一目で分かりやすくすることを目的に作りました。帰りの会の時間に、朝の会で確認した目標が達成できたかどうかを振り返り、全員が達成できたら「花丸」、1人以上達成することができたら「丸」をカードケースの中に入れていきます。「花丸が○個貯まったらみんなが好きな活動をする」などの楽しみを設定することができます。また、「先週・今週・来週」カードや「昨日・今日・明日」カードを貼り、見通しをもてたり、言葉の意味を理解したりすることができるようにしています。土曜日、日曜日などの休日や祝日のところには、ラミネートをした白いカードを入れるようにし、「終わったこと」「過ぎたこと」を表しています。黒のプラダンを背景に使用することで、白いカードに注目しやすくしています。

2 その他

材料

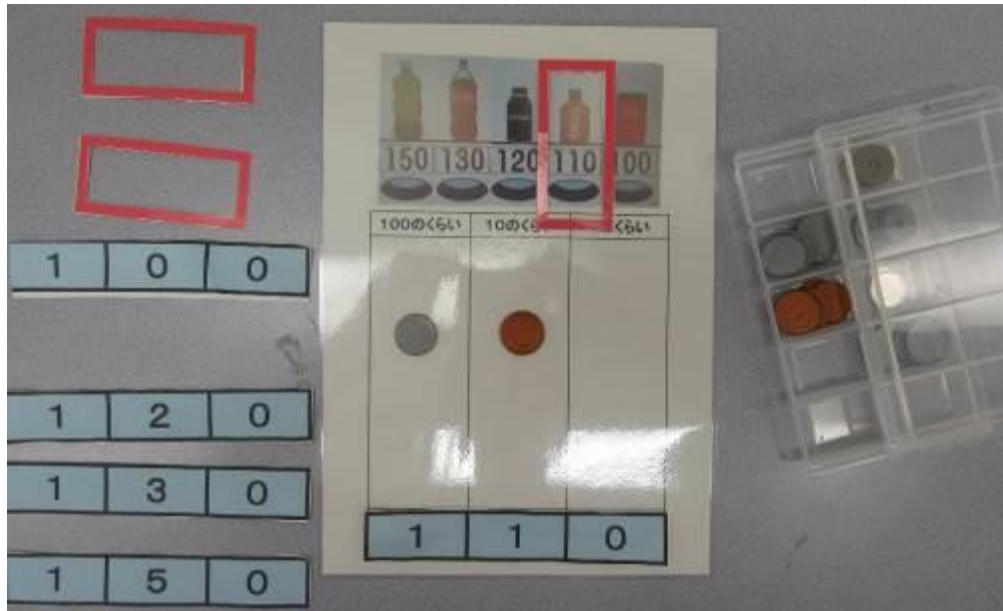
・プラダン(黒) ・カード(曜日・日付など) ・カードケース(37枚) ・両面テープ

参考文献・Web

教材・教具名		教科・領域等	数学科
--------	--	--------	-----

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

自動販売機で飲み物を買う学習の一環で作成しました。五つのうちのどの飲み物を買うか、一目で分かるように赤枠で強調させたり、100円玉、10円玉、1円玉（1円玉はこの学習では使いませんが、普段からこのスタイルで行っているので記載しました）を置く場所を設定したり、飲み物の下に値札がたくさんあって見づらいため、下の段にも選択した飲み物と同じ値札を置き、分かりやすくしたりしました。認識の高い生徒には、おもちゃのお金ではなく、本物のお金を使って、より実生活に近い状態で取り組ませたり、二つの飲み物を買ったらいくらになるか、電卓を使って計算させたりしています。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	課題（宿題）ノート	教科・領域等	国語
教材・教具写真（規格：縦 cm×横 cm×高さ cm）			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">  </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>絵カード、文字カードを使った平仮名の単語づくり、2語文の練習等。 文字は読めるが、書くことができない生徒に行った課題。カードは、マジックテープでノートに貼れるようになっており、宿題として持ち帰ることも可能。 百円ショップで購入したファイルとプラスチック版、マジックテープで作成した。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	課題収納ボックス	教科・領域等	自立活動等
--------	----------	--------	-------

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

百円ショップで購入したトレイと端材で作成した。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	上を向いて、手を上げて	教科・領域等	自立活動

教材・教具写真 (規格：縦 10cm×横 3cm×高さ 40cm)



1 教材・教具の説明

普段、視線が低く上を向かない生徒に、視線を上げて活動してもらうことをねらいとしています。また、手を上げるのが苦手で、頭より高い位置に手を上げられること、高いところで手を維持できるようにすることもねらいとしています。

机に教具を取り付け、座位で活動を行います。高いところから高いところへ物を移動させたり、高いところにある紙皿に洗濯ばさみを付けたりするなどの課題を行います。

上部のクリップに様々な用具を取り付けることによって、生徒の実態に合わせた課題を行えます。

2 その他

百円均一に売っている支柱を1本とクリップ2本を組み合わせて作成します。

クリップに付けるものは、生徒の実態に合わせて課題を作成しています。

参考文献・Web

教材・教具名	測って分けよう！	教科・領域等	数 学

教材・教具写真 (規格：縦 17cm×横 24cm×高さ 13cm)



1 教材・教具の説明

- 物差しの使用を学習するための教材です。
 - ・ 左側の入れ物に、様々な長さのストローが入っています。
 - ・ ストローの長さをものさしで測って、ボトルに入れ分けます。
 - ・ ボトルには、それぞれ2cm、4cmなど長さを書いて指示します。
 - ・ 右側の入れ物には、指示された長さではない不要なストローを入れます。

- 学習の進度によって、使い方をを変えることができます。
 - ・ 物差しは使用できないが、長さの比較をさせたい場合
 - 物差しの変わりに、厚紙などで作った台紙を用意して、その台紙とストローを合わせて同じ長さのものを選ぶようにする。
 - ・ 物差しの使用がまだ定着していない場合
 - 長さを2通り程度（少なく）にする。
 - ・ どんどん物差しを使わせたい場合
 - 選択肢の中に、指示した長さ以外のストローをたくさん入れる。
 - ・ 物差しの使用から離れて、単なる色の弁別、長さの弁別としても使用することができます。

参考文献・Web

教材・教具名		教科・領域等	数学科
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>教師の数唱に合わせてボールを入れる活動で使用しています。</p> <p>指導のねらいは、目線が下向きがちな生徒の目線を上げ、視野を広げることです。ボールを容器に入れるという動作が身に付いていることに着目し、目線よりも高い位置に容器を設定することによって、目線を上げる練習をしています。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	押し切りはさみ	教科・領域等	自立・美術・総合
教材・教具写真 (規格：縦 <input type="text"/> cm×横 <input type="text"/> cm×高さ <input type="text"/> cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>市販の押し切りはさみに生徒が扱いやすいように、発砲スチレンを取り付けたものです。</p> <p>手で押す部分が大きいため、目安が付きやすく、押しやすいというメリットがあり、とても便利です。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	清掃検定・テーブル拭きの作業工程表	教科・領域等	作業学習
--------	-------------------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

清掃検定に向けて作業学習の中でテーブル拭きに毎週取り組んでいる。作業工程を口頭で説明するだけでなく、工程ごとに絵カードにしてつなげて使用させている。自分のできなかったところや忘れたところ等をすぐにチェックできるようにしている。カードを見てすぐ理解できている。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	ラダー	教科・領域等	保健体育
--------	-----	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦 cm × 横 cm × 高さ cm)

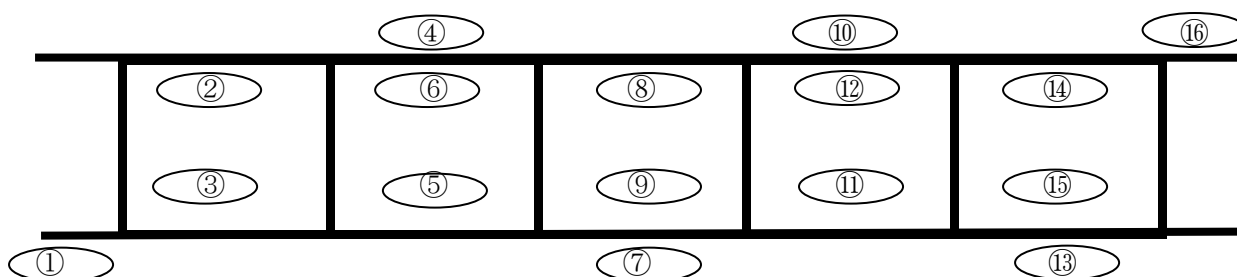


1 教材・教具の説明

朝の体力作りの時間に継続してラダーを使ったトレーニングに取り組んだ。

ラダートレーニング：ラダーのマスを使って、いろいろなステップを踏み行うトレーニング。決められた範囲の中で身体をコントロールするよう取り組むことで、ボディバランスを身につける。瞬発力、俊敏性を養う。

【ステップの例】



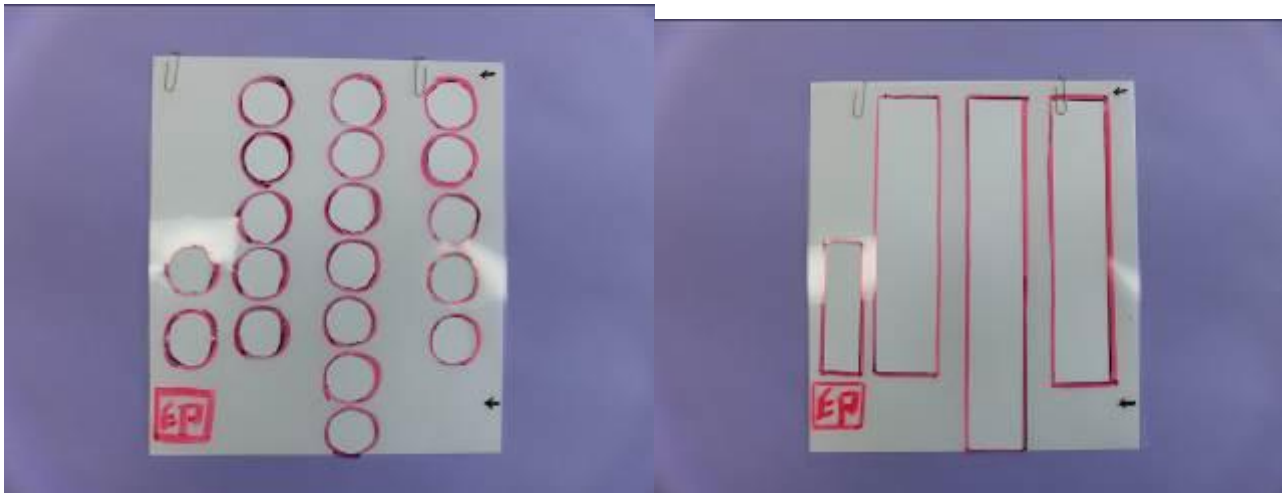
2 その他

【材料】塩ビパイプ、ひも、テープ

参考文献・Web	新ラダートレーニング
----------	------------

教材・教具名	色紙の文字バランスシート	教科・領域等	国語
--------	--------------	--------	----

教材・教具写真 (規格：縦 27cm×横 25cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

国語で俳句の学習をした際に支援具として、文字のバランスや真っ直ぐに書けない人に活用しました。

工夫した点…文字枠の淵を赤くしたことで書くスペースを見えやすくした。

矢印を目印に、書く順を示した。

長所…教師の支援がなくても、文字がバランス良くまた、真っ直ぐに書ける。

読みやすい、丁寧な文字に書ける。

短所…文字に勢いがなくなり、画一的になる。(個性が表現し難い。)

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	ナイアガラ簡易器具	教科・領域等	生活単元学習
--------	-----------	--------	--------

教材・教具写真 (規格：特にありません。用途に応じて)



1 教材・教具の説明

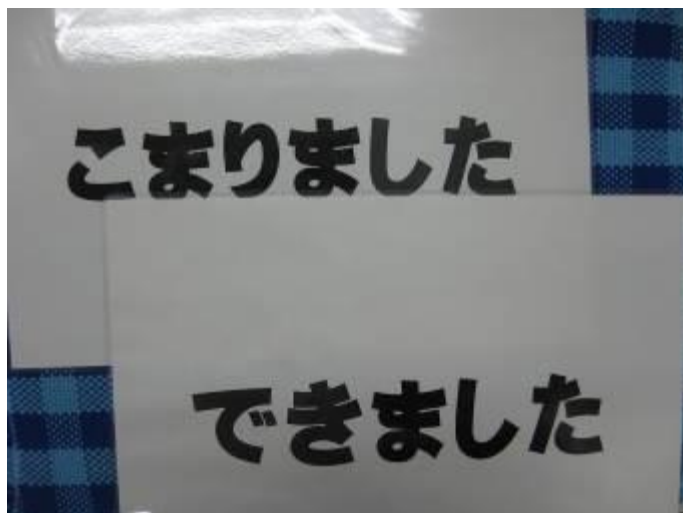
学級開きや歓迎会など、会の終わりに決意や感謝の気持ちを表した垂れ幕と紙テープを垂らすための器具です。テープが長い時間落ち続けるので見逃すことが少なく、(特に注視しにくい生徒) 全員で気持ちを伝えることができます。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	自力報告グッズ	教科・領域等	作業学習

教材・教具写真 (規格：A4)



1 教材・教具の説明

話して報告するのが苦手で「報告できないから作業に行きたくない」と訴えてきたので、自分からできた・困ったことを報告できたという自信も付けさせていきたいという願いを込めて作りました。

自分の言葉で伝えられるか不安だということも苦手だと感じている原因の一つかなと思うので、伝えたいことをボードに書いて伝えさせるようにもしました。

こんなときはこんな風に言ったら良いと伝えて、自分の力で言えるようになればと思います。

2 その他

ホワイトボードに書いてあるものですが、どんなイメージで布を織ったのかと聞いたときに自分の中のイメージをこんな風に表しました。「ト音記号とか音符をイメージしたのね」と言うと次からは聞かれると「音符」と自分で言うようになりました。どんな言葉で伝えて良いか分からないというような語彙の少なさも感じたので、いろいろな表現をして語彙も増やしていきたいと思います。

就労に向けて、報告をする習慣を身に付けていきたいと思います。

参考文献・Web

教材・教具名	意思表示ボード	教科・領域等	日常生活の指導
--------	---------	--------	---------

教材・教具写真 (規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)



1 教材・教具の説明

帰りの会のときに今日の振り返りとして、発語がない生徒や自分の意思を伝えるのが難しい生徒が、絵カードを選んでその日の自分の気持ちを伝えるために使っています。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	平仮名運筆練習板	教科・領域等	国語科
教材・教具写真 (規格：縦 30cm×横 50cm×高さ 1cm)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div> <p>※ 文字は入れ替えている。</p>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>生徒の実態：直線のなぞり書きは、始点終点を意識しながら行うことができる。「+」など、一画でも交差した線があると始点が分からず、ぐしゃぐしゃになってしまう。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>運筆の練習をするために、板と発泡スチロール材で本教材を作成した。</p> <p>使用方法：① 板と発泡スチロール材の間に紙を挟む。 ② 指でなぞり書きを行う。(生徒本人) ③ 鉛筆でなぞり書きを行う。(生徒本人)→教員は平仮名を発音しながらなぞらせる。 ※ 初めはサインペンや色鉛筆(芯が柔らかい)など滑りやすいものを使用していた。 ④ 紙を抜き、書いた文字を生徒に提示し、教員が発音する。</p> <p>2 その他</p> <p>使用しながら練習することで、本教材がなくとも形を捉えて平仮名を書くことができるようになってきている。また、本教材は名前練習のために使用したので、生徒が「自分」を自覚できるよう、左端に顔写真を貼っている。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	カルタセット	教科・領域等	国語科
--------	--------	--------	-----

教材・教具写真 (規格：ボード 縦80cm×横80cm×高さ1.5cm、手形 A5サイズ)



1 教材・教具の説明

国語科でカルタをする時に使用しています。80cm×80cmの木の板にクッションを敷き、その上から合皮を張ることでカードを取りやすくしています。また、生徒がカードを勢いよく取っても手が痛くなりません。ボードの前に手形やカルタの空き箱を置くことで、教師が読み札を読んでいるときに手を置く位置や、取った後のカルタの置き場所をわかりやすくしています。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	的当てゲーム	教科・領域等	生活単元学習

教材・教具写真 (規格：縦110cm×横110cm)



1 教材・教具の説明

【目的】

ボールを投げて的に当て、得点を競うゲームをする。得点はその場で決め、友達と楽しくゲームを行いました。

【材料】

- 1 ボール (百円均一)
- 2 マジックテープ (百円均一)
- 3 マジッククロス生地 (マジックテープがくっつく素材の布)

【製作時間】 約1時間

参考文献・Web

教材・教具名	遠投機	教科・領域等	自立活動

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



[セット]



[発射]

1 教材・教具の説明

【目的】

ボール等を投げることに課題がある生徒も、レバーを押すかひもを引くことにより、ボールを投げられる。ポッチャゲームや玉入れ等に応用できる。

【材料】

- 1 木材：89×19×1800 等
- 2 金物：丁番 32mm 、ローラーキャッチ (小) 、真ちゅう よーと 等

【製作時間】 約 2 時間

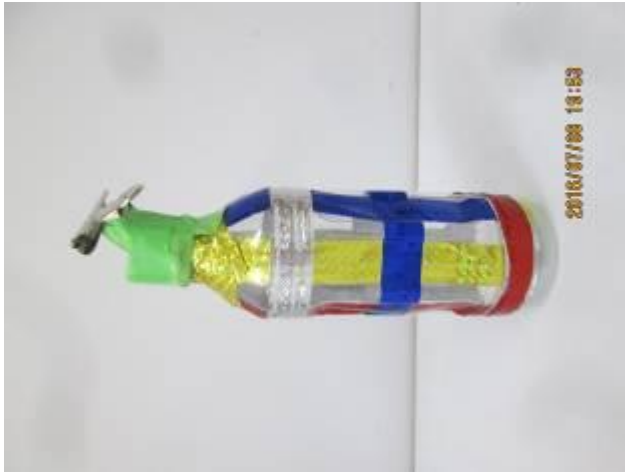
参考文献・Web

平成27年度 西条特別支援学校の運動会で使用していたものを参考にした。

教材・教具名	ヒッパリーノ・チギリノ	教科・領域等	作業
--------	-------------	--------	----

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 6 cm×横 6 cm×高さ 22 cm)





1 教材・教具の説明

作業学習、紙工での工程の中の一つである「かみちぎり」で使用する。紙を指で挟んでちぎる力が弱いときの支援に有効である。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	元に戻しまシート	教科・領域等	日常生活の指導
教材・教具写真 (規格：縦 cm ×横 cm ×高さ cm)			
			
1 教材・教具の説明			
<p>より支援の必要な学級での、狭いスペース内へのコップ・歯ブラシの後片付けは、少し気を抜いてしまうと、担任の活動になりかねませんが、児童・生徒の実態にもよりますが、このシートを用いると、片付ける場所を指差すだけで、それを頼りに元の場所に片付けることが可能になります。シートを見て判断するのが難しい児童・生徒の場合には、片付けてほしい位置とその児童・生徒のコップとに、同じ色のテープやキャラクターのシールを貼って対応したこともあります。自分の名前を文字で認識できている場合には、その上に児童・生徒の名前を書いて、名前の学習と並行して、徐々にテープの色やキャラクターを外して、名前のみにして行くのも良いかと思えます。</p>			
2 その他			
<p>見てほしい場所の画像をプリントアウトし、パウチをしてテープで止めてあるだけです。画像に手を加えて、片付けたものだけに色を残して、全体はモノクロにしても良いかもしれません。</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	紙ちぎり補助具	教科・領域等	作業学習（紙工）
--------	---------	--------	----------

--	--	--	--

教材・教具写真（規格：縦 cm×横 cm×高さ cm）



1 教材・教具の説明

【目的】 ハサミや手指を使うことが難しい生徒も、輪等を引っ張って作業を可能にする。

【可能作業】 紙ちぎり（引き裂く位置に取り付ける）、ラミネート剥がし

【製作時間】 約10分

2 その他

【材料】（大半が100均品）

クリップ（大）、拘束バンド、手芸バック用の手持ち輪、ひも等

参考文献・Web

教材・教具名	紙すき補助具	教科・領域等	作業学習 (紙工)
--------	--------	--------	-----------

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格: 縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

【目的】 持ち上げることが難しい生徒も、輪等を引っ張って作業を可能にする。

【可能作業】 紙すき

【製作時間】 約10分

2 その他

【材料】 (100均品)

洗濯物干しハンガー、すだれ止め、手芸バック用の手持ち輪、クリップ (大)、ひも等

【工夫ポイント】

すだれ止めを用いて、引く度にその高さで一時ストップできるようにした。

参考文献・Web

教材・教具名	クリップの色分け	教科・領域等	自立活動
--------	----------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦 cm × 横 cm × 高さ cm)



1 教材・教具の説明

方法

- ・箱に入ったクリップを色別に分け、色ごとに数を数えて、個数を記録する。
- ・作業開始から記録終了までの時間を計り、所要時間を記録する。

ねらい

- ①手指を使った細かい作業ができる、②微妙な色を識別してわけることができる、③数を正確に数えることができるという三つの効果をねらった作業訓練。
- 更に毎回時間を計測し、どのようにすれば時間短縮ができるかを工夫しながら作業を行わせ、作業速度を上げる訓練にもつながっている。

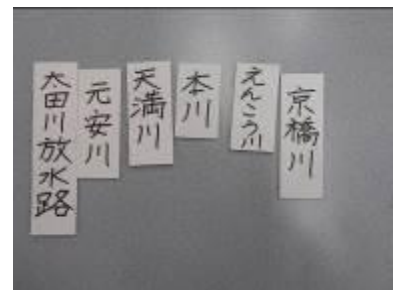
2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	i pad	教科・領域等	保健体育
教材・教具写真 (規格：縦10cm×横10cm×高さ4cm)			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アップルTVは、i pad で撮影した動画を大型TVで視聴できる教具である。 ・ アップルTVと大型TVを使用することで、i pad 上で行っている操作をリアルタイムで多くの生徒と共有できる。 <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分達の動きを視覚的にすぐ振り返ることで、動きの修正点や課題を発見することができる。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭の集団行動の演技で、演技がそろっているところやそうでないところを即時に見ることができて、生徒達と修正箇所やそろっているところを確認することができた。演技後、すぐに全体で課題を確認することができたので、生徒達は次の演技練習の際に「注意すべき点」に集中して取り組むことができた。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	広島市地図	教科・領域等	生活単元学習
--------	-------	--------	--------

教材・教具写真 (規格：縦100cm×横170cm)



1 教材・教具の説明

- ①生徒の手元に広島市の絵地図を配る
- ②絵地図の拡大コピーをホワイトボードに貼る
- ③川、駅、区役所などの小さなカード（磁石付き）を生徒に見せる。
- ④手元の絵地図で同じ文字を探し、カードを大きな地図に貼らせていく。

2 その他

図が得意な生徒は、探すのも早く、覚えるのも早いようです。

参考文献・Web

平成27年度版 わたしたちの広島 広島市小学校社会科研究会会員編集

教材・教具名	マッチング課題	教科・領域等	自立活動
--------	---------	--------	------

教材・教具写真 (規格: 縦 cm × 横 cm × 高さ cm)



1 教材・教具の説明

左のブロックと同じものを下のブロックの中から選択し、型にはめる。

2 その他

似たような形は少し戸惑っていたが、良く見て選択することができた。
持ちやすいように、厚さのある木のブロックを使用した。

参考文献・Web

教材・教具名	絵本セット (2セット)	教科・領域等	生活単元学習
--------	--------------	--------	--------

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格: 縦 cm × 横 cm × 高さ cm)






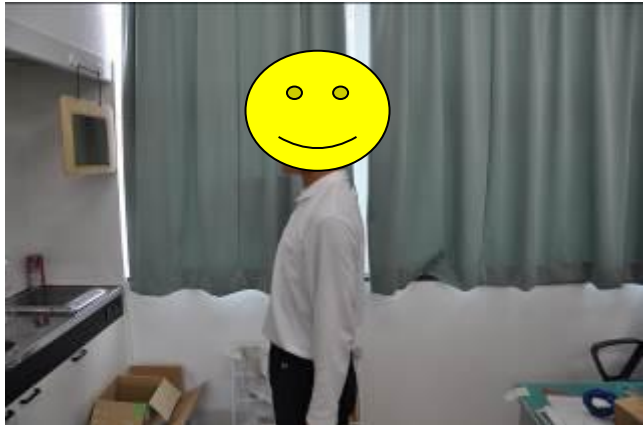


1 教材・教具の説明

- 絵本の学習をするときの教材です。左側は、「いいおかお」の学習セットです。犬の絵には犬の鳴き声が、猫の絵には猫の鳴き声が入っています。(ユーチューブから録音。) それぞれの役目になった生徒がそれぞれのVOCAを押します。
- 右側は、「だるまちゃんとだいこくちゃん」です。二人が「うちでのこづち」を振るときに使います。うちわにこづちの絵を貼り付けたものです。

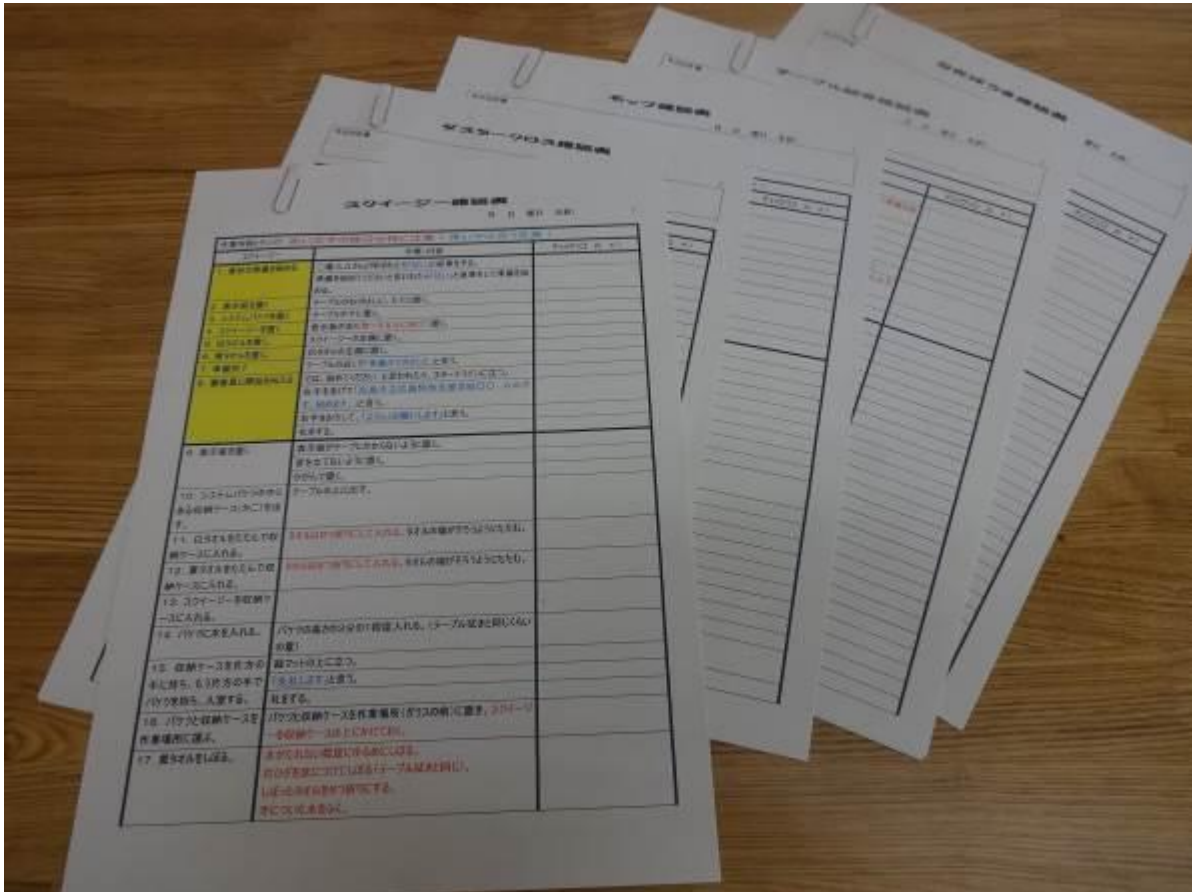
2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	Kurikawa 君 nekozenaosimasu	教科・領域等	日常生活の指導
教材・教具写真 (規格:縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>日常的に体が硬く姿勢は常に前傾で猫背気味であるため、日常生活を送る上で背筋を伸ばし、胸を張ってしっかりと意識して、生活してほしいと思い考案しました。</p> <p>下の写真2枚は Kurikawa 君 nekozenaosimasu を着脱直後の写真です。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web	無		

教材・教具名	清掃技能検定手順表	教科・領域等	作業学習

教材・教具写真 (規格:A4サイズ)



1 教材・教具の説明

清掃技能検定の手順の流れを表にしたものです。手順表を見ながら映像を見たり、手順表に従って作業をしたりせりふを言ったりすることで、求められる正確な作業を行うことができるようにしています。

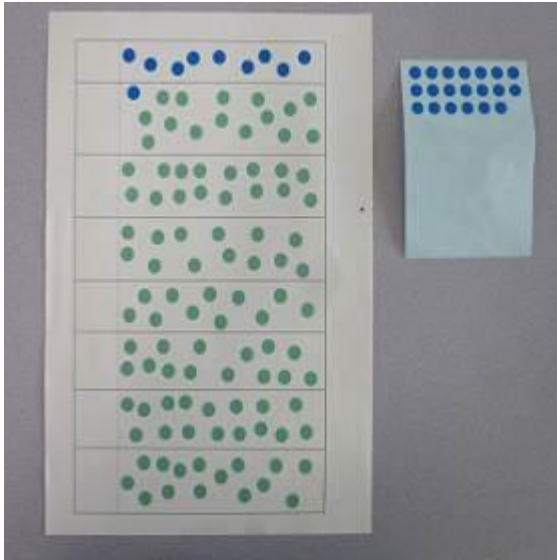
2 その他

テーブルふき、自在ぼうき、ダスタークロス、モップ、スクイージーの5種があります。

参考文献・Web

教材・教具名	シール貼り	教科・領域等	自立活動
--------	-------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦 30 cm×横 20 cm×高さ cm) (生徒用プリント)



1 教材・教具の説明

作業所でのサンプル貼り作業をイメージした活動

- ① 緑の「○」に合わせてシールを貼る。
(枠に正確に合わせて貼る)
- ② 一行貼り終わった後に「○」の数を左枠に書く。

2 その他

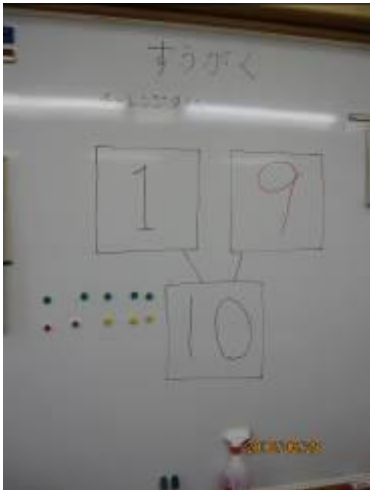

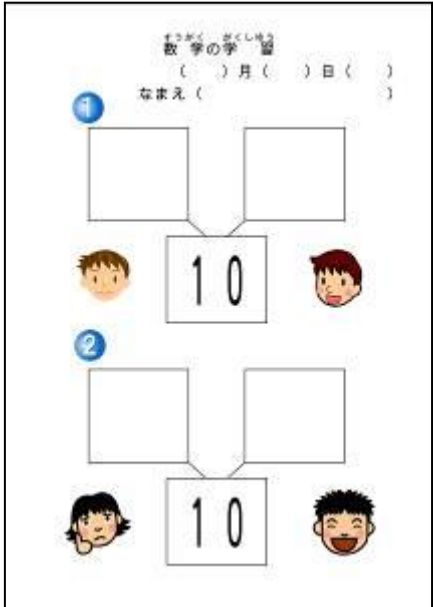
- ・はじめは、大きな「○」を貼る活動から行い、できるようになったら小さくしていく。
- ・数を数えるのが苦手な生徒は、1列に10個、真っ直ぐ「○」が並べられるプリントを応用し、12個、17個など、数を数えやすいようにして活用する。

参考文献・Web

教材・教具名	蝶結び練習用具	教科・領域等	キャリア学習
情報提供者			
教材・教具写真	(規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)		
			
1 教材・教具の説明	ちょう結びが自分でできるようにするために利用		
	① ひもを色分けした手順表を見ながら、上の赤白のひもで練習する。		
	② ある程度できるようになったら、下の色分けしていないひもで練習する。		
	③ 長さやひもの材質を変えて練習する。		
2 その他	最初はちょう結びができなかった生徒が、繰り返し練習することで、できるようになった。		
参考文献・Web			

教材・教具名	足し算用具	教科・領域等	数 学
--------	-------	--------	-----

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格: 縦	cm×横	cm×高さ	cm) (生徒用プリント)
			

1 教材・教具の説明

楽しみながら足し算を覚えるための用具

- ① 授業の開始に「チャレンジタイム」として毎回足し算の計算を行う。
- ② 希望者がサイコロふり、出た目を左の枠に教師が書く。
- ③ サイコロの出た目を磁石で示し、10になるために残りの磁石を右枠の上に並べ、生徒が計算していく。
- ④ 教師が順番に生徒に当て、答えをホワイトボードに書かせる。
その後みんなで確認し、正解したら拍手をする。

2 その他

- ・ サイコロをふり、楽しみながら足し算を覚える。
- ・ 人前に出て答えを書き、答えが正解すると自信につながっている。

参考文献・Web	
----------	--

教材・教具名	ビーズ挿し	教科・領域等	自立活動
--------	-------	--------	------

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)



1 教材・教具の説明

目と手の協応を高めるための課題

2 その他

〈材料〉ビーズを挿すもの、様々なビーズ、ピンセット、はし

挿す方法を、手、ピンセット、はし、と生徒の実態に合わせる。

参考文献・Web

教材・教具名	台拭き補助具	教科・領域等	自立活動
--------	--------	--------	------

教材・教具写真 (規格: 縦 53cm×横 80cm×高さ 1cm)



1 教材・教具の説明

- 机をふきんで拭く際の手順を知るためと、拭き残しをなくすための机の外枠です。
- 活動に見通しがもてないと不安になる生徒に対して、活動に見通しをもつことができるよう作成しました。

2 その他

- 外枠を付けることで興味をもち、楽しみながら机拭きに取り組むことができていました。

参考文献・Web

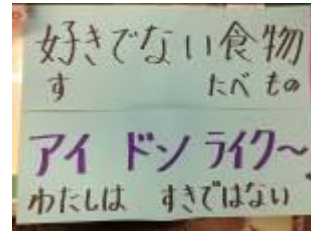
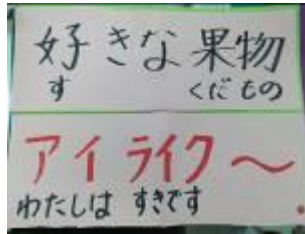
教材・教具名	ピクチャーカード・フラッシュカード・内輪	教科・領域等	英語科
--------	----------------------	--------	-----

教材・教具写真 (規格:縦 50cm×横 100cm×高さ 0cm)

① ピクチャーカード (大・小)



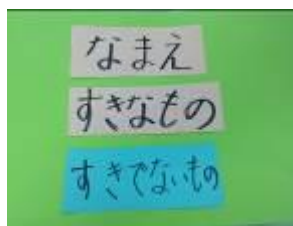
② フラッシュカード



③ 内輪 (表側)



④ 自己紹介のためのカード



1 教材・教具の説明

【題材】好きな果物・嫌いな食べ物 「アイ ライク ～ . / アイ ドン ライク ～ .」

① ピクチャーカード (大・小)

○大カードは、果物を英語で言う練習用。前で見せてリピートさせる。

○小カードは、好きな果物を英語で言う練習用。

(表にカナで読み方とアクセントの位置を書いておく。

裏に「アイ ライク バナナ」などと書いて、言えなかった生徒は裏を見て読む。)

② フラッシュカード

好きな果物

アイ	ライク	～ .
わたしは	すきです	

③ 内輪 (「フー アム アイ」ゲーム)

「ドラえもん」の絵を貼った内輪を裏返して顔にあてて質問する。

教師:「フー アム アイ ? 」(私は、誰でしょう?)

「アイ ライク じゃがいも .」

「アイ ドン ライク ミッキーマウス .」

生徒から「ドラえもん」という答えが出たら、内輪を表にして

教師:「マイ ネイム エズ ドラえもん .」

④ カード (自己紹介)

ホワイトボードに、「名前」「好きな果物」「好きでない食べ物」というカードを貼って、自己紹介をさせる。

「マイ ネイム エズ ～ .

アイ ライク ～ .

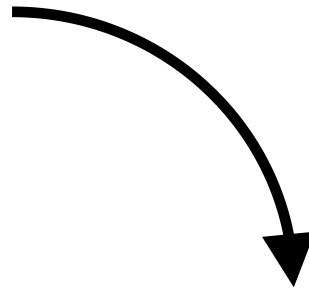
アイ ドン ライク ～ .」

2 その他

教材・教具名	輪ゴム (指二人羽織)	教科・領域等	自立活動
--------	-------------	--------	------

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格: 縦 cm × 横 cm × 高さ cm)



1 教材・教具の説明

○カラー輪ゴムを、生徒の親指と教師の親指、人差し指と人差し指に掛けて使います。

- ・自分の力で、指を開いたり、閉じたりできない生徒に使います。
- ・輪ゴムをねじって掛けることで指同士がずれにくくなります。

写真は、小さな端切れを指でつまんで、コルク板に貼り付けています。指を閉じる動作と、開く動作を教師の指が後ろ側から支援しています。

2 その他

輪ゴムの圧で指がうっ血することはありませんでしたが、気になるようであれば、短時間の使用にしてください。

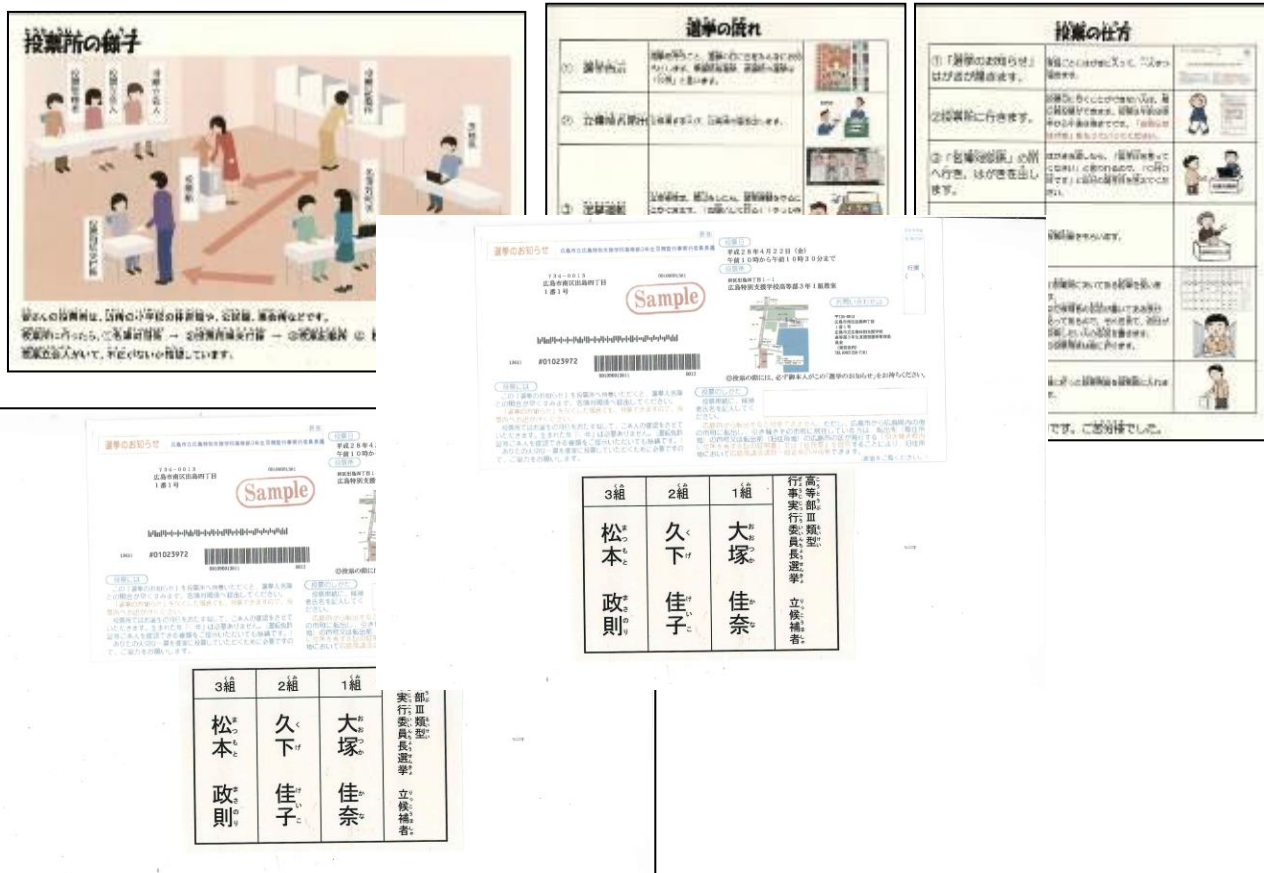
じゃんけんができます。

参考文献・Web

--

教材・教具名	18歳選挙権・模擬投票支援具	教科・領域等	生活単元学習（主権者教育）
--------	----------------	--------	---------------

教材・教具写真（規格：プリントはA4 お知らせはがきは実物大）



1 教材・教具の説明

- 高等部第3学年Ⅲ類型の生徒たちの、主権者教育（18歳選挙権・模擬投票）の授業で使用。7月の参議院選挙で、選挙権をもつ生徒がいるので、できるだけ実際に近い形になるよう、授業を行った。
- 模擬投票を行う前に、選挙の流れ、投票の流れについてプリントで確認。自閉症・自閉的傾向の生徒や発達障害の生徒が多いため、時系列での説明や絵を使って分かりやすくしており、実際の選挙でも使えるように配慮した。
- 模擬投票では、実際の記載台や投票箱、お知らせはがき見本を借り、教室を投票所に見立てて行った。その際、生徒一人一人にお知らせはがきを実物大で作成し、配付した。投票用紙も選挙管理委員会からいただいて、本物を使用。掲示物については投票所と同様の物を作った。

2 その他

- 模擬投票は、参観授業で保護者にも見ていただき、プリントについても説明した。

参考文献・Web	京都市選挙管理委員会「選挙フレンズ」 http://www2.city.kyoto.lg.jp/senkyo/senkyoFriends_html/index.html
----------	---

教材・教具名	グラウンドでの目印の紐巻き器	教科・領域等	体育
--------	----------------	--------	----

教材・教具写真 (規格：縦 60cm×横 13cm×高さ 10cm)



1 教材・教具の説明

体育祭で集団演技をするときに、生徒の立ち位置の目印を紐にビニールテープを張って、グラウンドに引いた。生徒は自分の立ち位置をビニールテープの色で覚え、自主的に移動できるようになった。紐を引いたり回収するとき、ひもがもつれたり時間が掛かったので、ひもを筒に巻き、丈夫な棒を刺して二人一組でひもを引くとスムーズにできるようになり、とても便利だった。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	100ます計算がんばり表	教科・領域等	数学

教材・教具写真 (規格：縦 31 cm × 横 22 cm) A4 × 2



1 教材・教具の説明

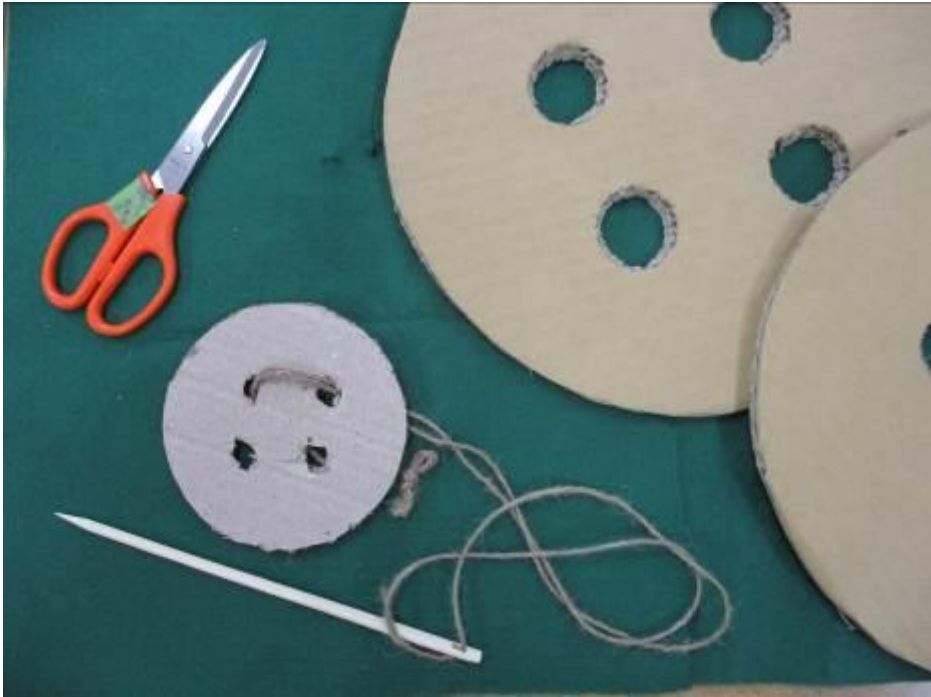
朝学習の取り組みで、四則計算が定着してきたので、3年生になってからは100ます計算を行っている。より集中力を高めるため、毎回自分でタイムを計ることにした。ストップウォッチは、100円ショップで購入し、各自に持たせている。

また、グラフの書き方を学習し、折れ線グラフの書き方を定着させるため、がんばりグラフ表を作り、生徒たちに毎回記録させることにした。

100ますプリントは+算、-算、×算を用意している。

2 その他

現在は全員が100ます計算に取り組んでいるが、時間の掛かる生徒は30ます計算、50ます計算と段階を経て少しずつできるようになった。

教材・教具名	ボタン付け説明用具	教科・領域等	生活単元学習
教材・教具写真 (規格：縦 cm×横 cm×高さ cm)			
			
1 教材・教具の説明			
<p>生活単元学習の衣服の畳み方や、アイロン掛けに続き、次の段階としてボタン付けの指導を行った。</p> <p>ボタンがどのように付いているかということ、針の動きを示しながらわかりやすく説明するためにこの教材を作成した。</p> <p>全体では、段ボールの大きなボタンと、菜箸を針に見立てて説明する。手元では、割り箸の針に麻ひもを通し、フェルトに刺しながら小サイズの段ボールボタン付けを説明する。</p> <p>ひもを使って、玉結びや玉留めの説明も行うことができる。</p>			
2 その他			
参考文献・Web			

教材・教具名	係活動 手順表	教科・領域等	日常生活の指導
--------	---------	--------	---------

教材・教具写真 (規格:縦 31cm×横 22cm) A4×2



1 教材・教具の説明


係活動で、手洗い場の掃除・歯磨きコップ洗いに取り組む生徒への手順表として手洗い場横に掲示している。

手洗い場の掃除は、手順とともに写真を用いてどこを掃除していくかを示した。スポンジで洗う箇所、雑巾で拭く箇所を色を変えて示した。

コップ洗いでは、全員のコップを洗うので、初めにすべてのコップを出すこと、スポンジをぬらしてから洗剤をつけることを示した。活動が完了した際には教師に報告できるよう、手順表にも示している。

2 その他

コップ洗いに使う洗剤の量は手順表には示していないが、スポンジに書かれた「コップ」の「プ」の○の部分につける、と直接指導している。

教材・教具名	レジにおける接客用語プリント	教科・領域等	流通サービス
<p>教材・教具写真 (規格: プリントはA4)</p> <div style="text-align: center;"> <div data-bbox="600 443 759 488" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">レジにおける接客用語</div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 「いらっしゃいませ。」 礼 2 「商品をおあずかりいたします。」 3 レジを打ちながら、声に出して確認 「(金額) 円の、(商品名) が、(個数)。」 <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div data-bbox="644 669 836 763" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 例 98円のリンゴが2個 148円の大根が1本 398円のミカンが1袋 </div> <div data-bbox="919 674 1007 752" style="margin-left: 20px;">  </div> </div> 4 「ありがとうございます。(小計金額) 円のお買い上げでございます。」 5 ①ちよつどの場合 「(預かり金額) 円ちよつど、お預かりいたします。」 ②おつりがある場合 「(預かり金額) 円、お預かりいたします。」 6 ①ちよつどの場合 「レシートでございます。」 ②おつりがある場合 「(おつりの金額) 円のお返しと、レシートでございます。ご確認ください。」 7 「ありがとうございました。」 礼 「またおこしください。」 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高等部職業コースでは、流通物流サービスの授業の一環として、レジスターの打ち方の基本的な知識・技能を学習します。しかし、ただ、数字を打ち込むだけでなく、接客も同時に行う必要があります。 ○ 演習では、初段階ではお客さん役の生徒を相手に、このプリントを見ながら数字を打ち込みなます。間に「いらっしゃいませ」「500円お預かりします」などの接客用語を元気よく言うように指導していきます。 ○ 大半の生徒が基本的なレジ打ち・接客の技術を身に付けることができました。 <p>2 その他</p>			
<p>参考文献・Web</p>			

教材・教具名	各種スイッチ（ボタン、にぎり）	教科・領域等	自立活動
<p>教材・教具写真（規格：縦 10cm×横 10cm×高さ 4cm）</p> <p>《ボタンスイッチ》</p>  <p>《にぎりスイッチ》</p> 			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>筋肉の拘縮や骨格の変形等により、文具等の操作することが困難な児童・生徒のために製作しました。スイッチの先はモノラルプラグにつながっており、改良した駆動装置（新幹線のおもちゃやライトなど）のモノラルジャックと接続できるようにしています。</p> <p>《ボタンスイッチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100円ショップの印鑑ケースと小型スイッチを組み合わせて製作しました。面を押すことでスイッチとして作動します。 <p>《握りスイッチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100円ショップの小型印鑑ケースと小型スイッチを組み合わせて作りました。筋拘縮が強く、手を伸ばしたり、動かしにくかったりする生徒でも、手で少し握るだけで作動するようになっています。 <p>2 その他</p>			
参考文献・Web	・障がいのある子の力を生かすスイッチ製作とおもちゃの改造入門 金森克浩 著（明治図書）		

教材・教具名	なんちゃってカート	教科・領域等	自立活動
--------	-----------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦 40cm×横 50cm×高さ 30cm)




1 教材・教具の説明

もともとは教材持ち運び用の装置として製作しました。作りは、コンテナに100円ショップで販売されている園芸用のコロコロをゴムとクリップで固定し、ひもで結び付けただけの装置です。手の動きが活発である生徒に、ひもを持たせるとうれしそうに引っ張っています。コンテナの中身もビニール袋でかぶせた状態にしておくと、中身が気になるのかより早く引っ張る姿も見受けられました。ひもを引くという手や腕の動きを引き出すとともに、左右の手・腕の協応をはかることがねらいの教材です。

2 その他

参考文献・Web

教材・教具名	改造マウス (スイッチと併用)	教科・領域等	自立活動・生活単元学習
教材・教具写真 (規格:縦 10cm×横 15cm×高さ 8cm)			
			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>スイッチの駆動装置として製作しました。</p> <p>パソコンに接続するすればマウスとして使うことができます。マウスのそれぞれのボタンを改造しており、スイッチのプラグと接続すると、スイッチを押すことでマウスのボタンを作動させることができます。またプラグを指していない状態では、普通のマウスとして活用することもできます。</p>			
参考文献・Web	・障がいのある子の力を生かすスイッチ製作とおもちゃの改造入門 金森克浩 著 (明治図書)		

教材・教具名	押す装置 (スイッチと併用)	教科・領域等	自立活動・生活単元学習・音楽
--------	----------------	--------	----------------

--	--	--	--

教材・教具写真 (規格：縦 5 cm×横 8 cm×高さ 3 cm)



1 教材・教具の説明

スイッチの駆動装置として製作しました。

ホームセンターで販売されている玄関呼び鈴の装置の一部を改造し、モノラルジャックと接続しました。黒い箱に小さな穴が開いていて、スイッチと接続し、スイッチを押すことで穴から棒が1 cmほど飛び出すようになっています。この棒が出る部分にタンブリンなどをつけると打楽器の演奏装置になり、カメラのボタンにつけるとカメラ撮影機になります。

教材の活用方法として、筋肉の拘縮や骨格に変形のある児童・生徒が、打楽器の演奏したり、カメラ撮影を行ったりするとき 사용합니다。教材のねらいとして、演奏や撮影など操作性を要求される動作を指導者の直接的な介助がなく、できるようにすることで学習への興味を高めることです。

2 その他

参考文献・Web

・障がいのある子の力を生かすスイッチ製作とおもちゃの改造入門 金森克浩 著 (明治図書)

教材・教具名	新幹線のおもちゃ (スイッチと併用)	教科・領域等	自立活動・生活単元学習
--------	--------------------	--------	-------------

教材・教具写真 (規格: 縦 30cm×横 4cm×高さ 4cm)



1 教材・教具の説明

スイッチの駆動装置として製作しました。

100円ショップに販売されている新幹線のおもちゃの電池ボックスの一部を加工し、モノラルジャックと接続しました。スイッチと接続し、スイッチを押すことで動くようになります。

修学旅行での新幹線に関する学習やスイッチ操作に親しむ学習で使用しました。

2 その他

参考文献・Web

・障がいのある子の力を生かすスイッチ製作とおもちゃの改造入門 金森克浩 著 (明治図書)

教材・教具名	光るシリーズ (風船・楽器)	教科・領域等	自立活動
教材・教具写真 (規格: 縦 1 cm × 横 2 cm × 高さ 1 cm)			
<div style="text-align: center;">  <p>元となる発光器</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>《光る風船》</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>《光る楽器》</p>  </div> </div>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>感覚教材として製作しました。風船やプラスチック容器の中に100円ショップの自転車コーナーに販売されているような発光器を入れてみました。ちょっとした振動で、赤・青に点滅します。</p> <p>《光る風船》 風船に発光器を入れて膨らませて作りました。この教材の狙いとして、風船遊びなどで風船に対する興味関心を高め、動きを引き出しやすくすることと、教室を暗くし、複数の光る風船を眺めることで、リラックス効果を高めることの2点が挙げられます。</p> <p>《光る楽器》 プラスチック容器の中に発光器やビーズを入れ、容器を新品の靴下に入れると完成です。この教材の狙いは、振動させることで光と音の感覚を楽しみ、様々な動きを引き出すことです。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	筆記用自助具	教科・領域等	自立活動
--------	--------	--------	------

教材・教具写真 (規格：縦 10cm×横 15cm×高さ 10cm)



1 教材・教具の説明

筋肉の拘縮や骨格の変形により、鉛筆やペンなどの文具を握り、操作することが困難な児童・生徒のために製作しました。クリップにペンをはさむとともに、クリップから出ている握り面を児童・生徒の手に握るようにすることで、骨格系や筋肉に負荷をかけることなく小さな力でも操作しやすくしています。鉛筆以外にも、マジックやステンシル用のスポンジ、筆などいろいろなものはさめるようになっており、汎用性が高くなっています。

2 その他

参考文献・Web